平成 27 年度奨励研究（共同研究）

# フットパスの可能性に関する研究
## ―今金町を中心に―

# 事業報告書

札幌国際大学

（スポーツ人間学部　スポーツビジネス学科　教授　佐久間　章）
（観光学部　観光ビジネス学科　教授　丹治　和典）

目　　次

Ⅰ　研究の経緯と背景

Ⅱ　研究概要

1　研究の目的

2　研究組織

3　研究方法・計画

Ⅲ　フィールドワーク等実施状況

1　第1回フィールドワーク(7月24日～26日)

2　第2回フィールドワーク(9月11日～13日)

3　成果報告会(10月11日～12日)

4　マップ贈呈式（12月19日）

Ⅳ　成果と課題　～調査研究を振り返って～

資料

## Ⅰ　研究の経緯と背景

札幌市からは約 180 キロ、函館市からは約 120 キロの渡島半島の北部に位置する今金町は、南はユーラップ山系を挟んで八雲町、北は狩場山系を介して島牧村、東は低い山地を経て長万部町、西はせたな町に接している。

基幹産業は農業で、後志利別川による肥沃な土壌と、周囲を山地に囲まれた内陸性気候を活かし、男爵いもや米、大豆、軟白長ネギや大根など、関東・関西の市場のほか、レストランや食品製造業者でも評価の高い良質の農産物を産出し、乳用牛や肉牛などの育成も盛んな地域である。

特に男爵いもは「今金男しゃく」の名で全国ブランド化され、その味と品質は「日本一」との評判のほか、道内での流通が少なく、なかなか入手できないことから「幻のイモ」ともいわれている。

このように農業を基幹産業とする今金町は、高品質な農畜産物の供給基地として発展してきたが、近年は若年層の都市流出や少子高齢化の進展に伴う人口減少に歯止めがかからず、地域経済が衰退している状況にある(平成 27 年 3 月末の人口、5，613 人)。また、清流日本一の後志利別川をはじめ、豊かな自然資源や高品質な農畜産物など観光資源となり得るものがあるものの、それらを有効な資源として活用しきれておらず、さらに主要幹線から離れているという交通アクセスの不便さもあり、観光入込客数も低迷している。

こうした背景にある今金町では、平成 24 年 10 月 5 日に住民、大学などで協働のまちづくりを推進する基盤組織として「今金町人流創生プロジェクト協議会(i プロ)」を設立した。さらに、同年 10 月 16 日には、産業、文化、まちづくり、学術の分野等で協力するために、札幌国際大学と「地域連携事業に関する協定」を締結した。

これによって、本学の有するノウハウや研究の蓄積及び関係機関とのネットワークを活かし、観光による地域産業の活性化、交流人口の増加を目指して本学学生と地元住民(今金町人流創生プロジェクト協議会)が協力し、今金町の魅力を探り、その魅力を町外に発信する「地域資源発掘・再発見事業」、や「田舎暮らし体験事業」をはじめ、外国人留学生をモニターとしてインバウンドの可能性について検証する「外国人留学生による今金インバウンドモニターツアー」、冬季の旅行商品開発のための「冬の今金モニターツアー」などのプロジェクトに取り組んできた。

## Ⅱ　研究概要

### 1.研究の目的

森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くイギリス発祥の「フットパス」は、近年、日本においてもさまざまな地域で、特徴を活かした魅力的なコースが整備されてきている。現在、北海道には40を超える市町村に200を超えるコースがあり、各地で「フットパス」に関連したイベントも開催されている。檜山管内においても、せたな町・奥尻町・江差町３町では、すでに日本海フットパスとしてマップ整備がなされている。しかし、本学と地域連携事業の協定を結ぶ檜山管内今金町には、フットパスコースの整備がなされていないことから、今金町をフィールドとして、地域の有する自然環境資源を生かした固有のフットパスモデルコースの設計・検証を行うと共に、地域観光振興におけるフットパスの可能性について今金町と共同で調査研究を行う。

また、今年度「今金町人流創生プロジェクト協議会」は、「田舎暮らし体験事業」において提供するアクティビティとしてサイクリングコースの作成を検討している。フットパスとサイクリングのコース作成には、徒歩と自転車の違いはあるが、コース開発として共通する内容も多いことから、併せて共同で調査研究に取り組むこととした。

### 2.研究組織

本研究は、今金町と札幌国際大学の共同研究であることから、以下の組織で研究を進める。なお、学生については、地域の観光振興や健康・スポーツとしての視点が重要であることから観光ビジネス学科とスポーツビジネス学科の３年生が参画し、モデルコースの設計・検証にあたる。

【研究推進組織】　今金町まちづくり推進課、産業振興課、今金町人流創生プロジェクト協議会
札幌国際大学観光ビジネス学科３年生、スポーツビジネス学科３年生
スポーツビジネス学科教授　佐久間章、観光ビジネス学科教授　丹治和典

【調査研究スケジュール】

今金町におけるフットパスモデルコースの設計・検証及び、地域観光振興におけるフットパスの可能性について、以下のスケジュールで調査研究を行った。

■6月20日(清麗祭)　担当者打合せ　於：札幌国際大学
本研究の年間実施計画等について
第１回フィールドワークの実施計画について

■7月24日～26日　【現地調査①】第１回フィールドワーク　於：今金町
町並み、自然、景観等を踏査し、コースのポイントとなる候補地点の洗い出し
ポイント地点周辺のトイレ・休憩所等の環境調査
モデルコース案の設計及び試歩・評価

■8 月 27 日　担当者打合せ　　於 ： 札幌国際大学
第 2 回フィールドワークの実施計画について

■9 月 11 日～13 日　【現地調査②】第 2 回フィールドワーク　　於 ： 今金町
モデルコース案の再検証・評価を行い、コースをリデザイン
コースサイン及びマップの検討

■10 月 11 日～12 日　成果報告会　　於:今金町
今金町役場職員、観光・まちづくり等の関係団体メンバー及び一般町民を対象に、ｉプロメンバーと学生がモデルコースの報告を行うとともに、本調査研究の成果について公表。

■12 月 19 日～２０日　マップ贈呈式　　於 ： 今金町
マップの活用方策についてのワークショップ

## Ⅲ　フィールドワーク等実施状況

### 1.　第 1 回フィールドワーク(7 月 24 日～26 日)

**(1)日　程　　平成 27 年 7 月 24 日（金）～平成 27 年 7 月 26 日（日）**

<table>
<tr><th>時　間</th><th>7 月 24 日（金）</th><th>7 月 25 日（土）</th><th>7 月 26 日（日）</th></tr>
<tr><td>7:00</td><td rowspan="5">札幌国際大学<br>↓<br>今金町へ移動<br><br>（車内にて昼食）</td><td>朝食</td><td></td></tr>
<tr><td>8:00</td><td rowspan="3">神丘地区へ移動<br><br>フットパス<br>サイクリング<br>調査実施</td><td>朝食</td></tr>
<tr><td>9:00</td><td rowspan="3">（フットパスアンケート）</td></tr>
<tr><td>10:00</td></tr>
<tr><td>11:00</td></tr>
<tr><td>12:00</td><td rowspan="2">昼食</td><td>昼食【次回打合せ】</td></tr>
<tr><td>13:00</td><td>調査日程等の説明</td><td rowspan="7">今金町<br>↓<br>札幌国際大学<br>へ移動</td></tr>
<tr><td>14:00</td><td rowspan="4">今金町内付近<br><br>フットパス<br>サイクリング<br>調査実施</td><td rowspan="4">地域イベント<br>「24 時間キャンプ&ライブ」会場において、フットパスアンケートを実施</td></tr>
<tr><td>15:00</td></tr>
<tr><td>16:00</td></tr>
<tr><td>17:00</td></tr>
<tr><td>18:00</td><td>夕食</td></tr>
<tr><td>19:00</td><td rowspan="2">本日の調査報告<br>および<br>翌日の調査内容確認</td><td>夕食</td></tr>
<tr><td>20:00</td><td></td></tr>
<tr><td>宿　泊</td><td>【ホテルいまかね】</td><td>テント泊</td></tr>
</table>

**⑵参加者　　学生（男：9名　女：5名　計：14名）　引率教員（2名）**

| 所属学科 | 学年 | 学生番号 | 氏名 | 性別 |
|---|---|---|---|---|
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141009 | 干場　裕子 | 女 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141010 | 小野　颯太 | 男 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141011 | 竹内　俊樹 | 男 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141014 | 西潟　優 | 女 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141015 | 村木　和史 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131010 | 大津　仁哉 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131028 | 釜谷　駿介 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131011 | 南雲　久弥 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131015 | 岡本　恵樹 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131023 | 山本　真央 | 女 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131025 | 治部　弘宜 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131019 | 根本　雄伍 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131002 | 高橋　逸人 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131034 | 熊川　佳純 | 女 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131031 | 佐々木　真帆 | 女 |

【引率教員】　スポーツビジネス学科　佐久間章、観光ビジネス学科　丹治和典

**⑶事前準備【i プロによるモデルコースの構築・調査】**

６月 30 日（火）と７月７日（火）の両日で、フットパス・サイクリングのモデルコースの検討を行い、フットパスコース４案、サイクリングコース２案を設計した。７月８日（水）～７月 12 日（日）には、ｉプロメンバーで実際に各コースのプレ踏査を行いチェックポイント等を MAP 上に落とし、第１回 FW で検証するフットパス・サイクリングのモデルコース MAP を作成した。モデルコースの構築・調査を担当したｉプロメンバーは、以下のとおりである。

| | |
|---|---|
| フットパスＡ | 岩坂忠裕　阿知波大潤 |
| フットパスＢ | 苅屋泰裕　加藤剛広 |
| フットパスＣ | 岸徹也　早坂靖 |
| フットパスＤ | 樋口憲夫　佐藤創　仁木希久子 |
| サイクリング１ | 辻浩一　池田誓哉 |
| サイクリング２ | 臼井惟佳 |

**⑷ フットパス・サイクリングコース調査方法**

各モデルコース案を､主に以下の項目について写真撮影や MAP へのコメントを記入し踏査を行った。なお、各班で以下のアプリをインストールし、記録補助として活用した。

【RuntasticGPS】　　【Runkeeper】

【調査検証項目】

①コース距離、所要時間、歩数測定
②地形・交通状況等の危険ポイント
③自然・公園緑地・歴史的文化的遺産ビューポイント等
④トイレ・休憩所・自販機等の有無
⑤ランドマーク及び案内表示の必要なポイント等
⑥その他

【調査担当コース及びメンバー】

＊7 月 24 日（金）13：00～17：00　　（☆）は、i プロメンバー

| | |
|---|---|
| フットパス A | 南雲久弥　大津仁哉　山本真央　熊川佳純<br>岸徹也（☆）　佐藤創（☆）　丹治(教員) |
| フットパス B | 治部弘宜　釜谷駿介　岡本恵樹　根本雄伍　高橋逸人<br>苅屋泰裕（☆）　臼井惟佳（☆） |
| サイクリング 1 | 村木和史　干場裕子　小野颯太　竹内俊樹　西潟優<br>加藤剛広（☆）　佐久間(教員) |

＊7 月 25 日（土）8：00～11：00　　（☆）は、i プロメンバー

| | |
|---|---|
| フットパス C | 村木和史　干場裕子　小野颯太　竹内俊樹　西潟優<br>岸徹也（☆）　佐久間(教員) |
| フットパス D | 南雲久弥　大津仁哉　山本真央　熊川佳純<br>佐藤創（☆）　丹治(教員) |
| サイクリング 2 | 治部弘宜　釜谷駿介　岡本恵樹　根本雄伍　高橋逸人<br>臼井惟佳（☆） |

## (5) フィールドワーク活動概況

### ■7月24日（金）FW１日目

＊13:00～14:00

日程及び調査方法等の説明･確認

今金町到着後、iプロメンバー及び学生・教員の紹介を行った。

3日間の日程及び調査方法について全体説明。その後、各班に分かれて調査方法の確認及び写真撮影・記録等の役割を分担した。

＊14:00～17:00　　今金町内調査実施

「フットパスA」「フットパスB」「サイクリング１」のコースについて、調査を実施。

　調査中には、町民との交流も見られた。

＊19:00～20:30　　調査報告

　踏査したコースについて、各班に別れ本日の調査のまとめを行った。

　その後、各班ごとに本日の調査結果について、発表し全体で共有した。

■7月25日（土）FW 2日目

＊9:00～12:00　今金町神丘地区調査実施

神丘地区［愛指令ランド］へ移動し、「フットパスC」「フットパスD」「サイクリング2」のコースについて、調査を実施。天気は、あいにくの雨であったが、予定通り調査を実施した。

「フットパスC」を調査したグループは、iプロメンバーのコーディネートでコースの各所で、農業を営む住民の方との交流が行われた。

＊13:00～15:00　　調査報告・アンケート調査方法の説明

踏査したコースについて、各班に別れ本日の調査のまとめを行った。その後、各班ごとに本日の調査結果について、発表し全体で共有した。　さらに、アンケート調査の実施方法についての説明も行った。

＊16:00～19:00　　アンケート調査の実施

地域イベント「２４時間キャンプ＆ライブ」の会場において、来場者を対象にフットパスに関するアンケート調査を実施した。

雨天の為、来場者が少なかったが、グループ毎に調査項目をヒアリングし、16人から回答を得ることができた。

また、イベント会場では、縁日ブースの運営協力や会場設営等の手伝いなども行い、イベントを通じて学生と今金町民との交流の機会にもなった。

■7月26日（日）FW 3日目

＊9:00～12:00　地域イベント参画・アンケート調査

宿泊したテントの撤去をはじめイベントで使用した用具等の片付けを行った。予定していたアンケート調査については、雨が降っていた為、止むなく調査を中止した。

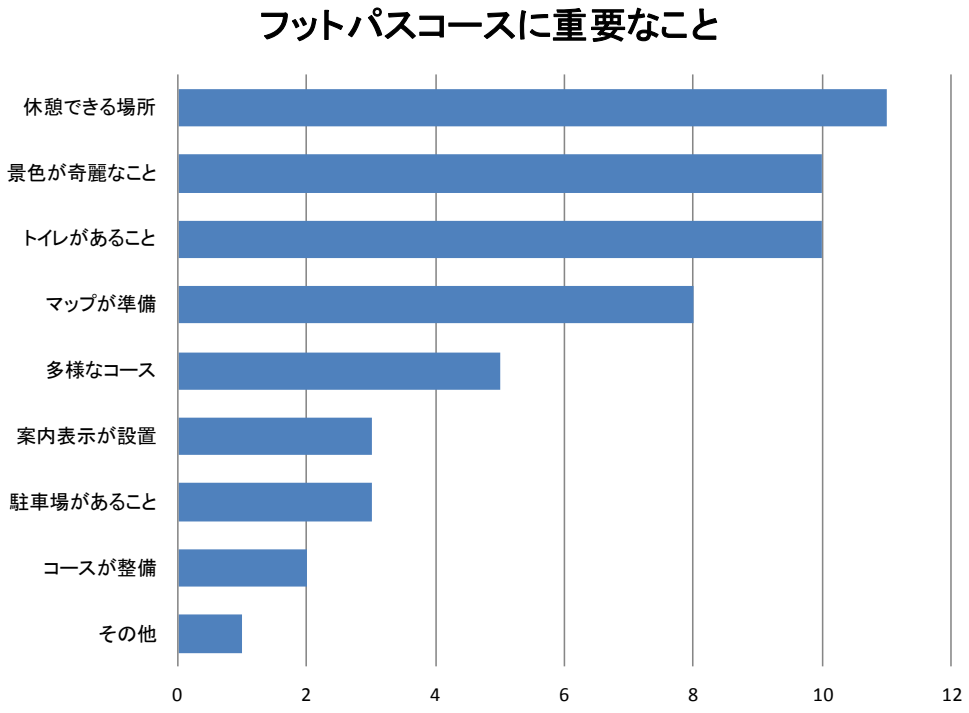
＊12:00～13:00　ふりかえり

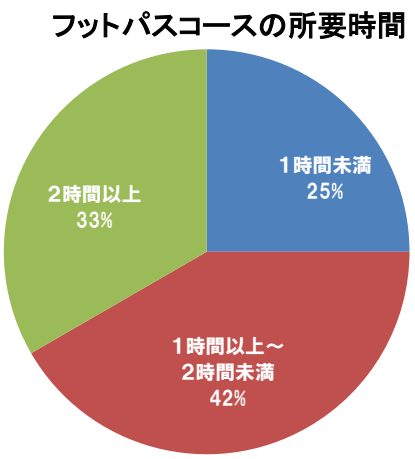
昼食会場において、第1回フィールドワーク全体のふりかえりを行った。

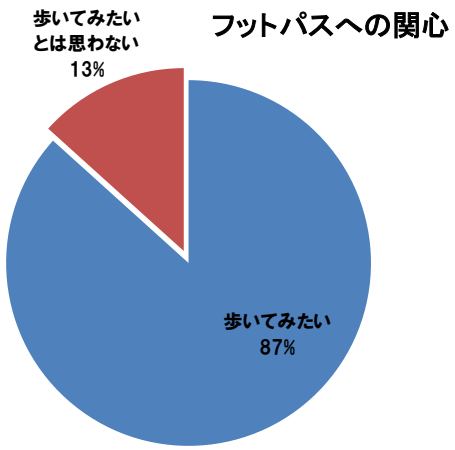
学生及びiプロメンバー全員が各自の感想等を発表した。

## (6) アンケート調査結果

| | | 全体 | 性別 | | 年齢 | | | | | | 職業 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 男 | 女 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 農林漁業 | 自営業 | 会社員 | 公務員 | 学生 | パート | 無職 | その他 |
| 居住地 | 今金町 | 8<br>50.0% | 5<br>50.0% | 3<br>50.0% | 3<br>100.0% | 1<br>33.3% | 1<br>50.0% | 1<br>25.0% | 0<br>0.0% | 1<br>50.0% | 1<br>100.0% | 1<br>100.0% | 0<br>0.0% | 1<br>50.0% | 3<br>100.0% | 0<br>0.0% | 0<br>0.0% | 1<br>100.0% |
| | 町外 | 8<br>50.0% | 5<br>50.0% | 3<br>50.0% | 0<br>0.0% | 2<br>66.7% | 1<br>50.0% | 3<br>75.0% | 0<br>0.0% | 1<br>50.0% | 0<br>0.0% | 0<br>0.0% | 3<br>100.0% | 1<br>50.0% | 0<br>0.0% | 2<br>100.0% | 1<br>100.0% | 0<br>0.0% |
| 合　計 | | 16 | 10 | 6 | 3 | 3 | 2 | 4 | 0 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 | 1 |



【参　考】

# フッドパスに関するアンケート調査

フットパスとは、イギリスで生まれ広まった「歩くことを楽しむための道」のことです。森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くフットパスは、近年、日本においてもさまざまな地域で、特徴を活かした魅力的なコースが整備されてきています。現在、北海道には 40 を超える市町村に 200 を超えるコースがあり、各地で「フットパス」に関連したイベントも開催されています。

この調査は、札幌国際大学と地域連携事業の協定を結ぶ今金町との地域観光振興におけるフットパスの可能性についての共同調査研究の資料とするものです。本調査の内容等は，調査研究資料とするほかは，外部に公表いたしません。

ＦＳ　あなた自身について、該当するものを〇印で囲んでください。

〇性　別　男　女
〇年　齢　10 代未満・10 代・20 代・30 代・40 代・50 代・60 代・70 代・70 代以上
〇職　業　農林漁業・自営業・会社員・公務員・学生・アルバイト・パート・主婦・無職・その他

**Ｑ－１　あなたの居住地は、どこですか。該当するものに〇印を記入してください。**

（　　）今金町　　（　　）町外【居住地名：　　】

**Ｑ－２　「Q-1」で「今金町」と回答した人のみお答え下さい。**

①居住年数についてご記入ください　　（　　）年

②居住地区について、ご記入ください　（　　）

③町外からの人に、ぜひ見てもらいたい今金町を代表する風景や場所などをご記入ください。
（複数回答）

＊＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＊＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＊＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＊＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**Ｑ－３　「Q-1」で「町外」と回答した人のみお答え下さい。**

SQ-1 今金町へ来たのは何回目ですか。回数をご記入ください。　（　　）回

SQ-2 今回、今金町へ来た目的について、該当するものに〇印を記入してください(複数回答)

（　）観光・祭り・イベント、（　）温泉、（　）登山・ハイキング、
（　）レジャー・ドライブ、（　）ショッピング、（　）ビジネス、（　）食事、
（　）その他【　　】

SQ-3 今金町を知ったきっかけについて、該当するものを一つだけ選択し〇印を記入してください。

（　）マスメディア、（　）イベントポスター・チラシ、（　）パンフレット、
（　）知人・友人、（　）インターネット、（　）その他【　　】

SQ-4　同行者として該当するものに〇印を記入してください。

(　)同行者なし、(　)知人・友人、(　)家族、(　)職場、(　)団体、(　)その他
＊同行人数(本人を含め)をご記入ください。【　　】人

SQ-５　今金町までの交通手段について、該当するものに〇印を記入してください。
(複数回答)

(　)JR、(　)貸切バス、(　)路線・高速バス、(　)自家用車、(　)タクシー、
(　)自転車、(　)その他

**Ｑ－４　フットパスについて、以下のＳＱ１～2についてお答え下さい。**

ＳＱ－１　フットパスコースを歩いたことがありますか。該当するものに〇印を記入してください。

（　　）ある　　（　　）ない

ＳＱ－２　今金町にフットパスコースがあれば、歩いてみたいと思いますか。該当するものに〇印を記入してください。

（　　）歩いてみたい　　⇒　Ｑ－５へ
（　　）歩いてみたいとは思わない
（　　）わからない

**Ｑ－５　「Q-4　SQ-2」において「歩いてみたい」と回答した人のみお答え下さい。**

ＳＱ－１　あなたが、フットパスコースを利用するなら、完歩するための所要時間とコース距離は、どの程度が良いと思いますか。具体的な時間と距離をご記入ください。

（　　時間　　分）　　（　　Ｋｍ）

ＳＱ－２　フットパスコースを利用する上で、あなたが重要であると考えることについて、以下の項目から選んでください。(複数回答)

（　）駐車場があること
（　）トイレがあること
（　）景色が奇麗なこと
（　）コースが歩きやすく整備されていること
（　）わかりやすい案内表示が設置されていること
（　）休憩できる場所があること
（　）多様な距離のコースが複数設置されていること
（　）マップが準備されていること
（　）その他【　　】

ＳＱ－７　その他、今金町でフットパスコースを設計するにあたり、ご意見等があれば自由に記入してください。

・フットパスコースＢ　２時間９分２５秒

川が見えない　／　コース全体のインパクトがない　／　田園･なびく音がよかった　／　地図に文字などを書くべき

休憩スポットを　／　今金らしさがあまり感じられない　／　自販機がほしい　／　風車のところに何かほしい

万歩計・ログ・時間・カロリーなどを一目でわかるアプリ　／　清流日本一を生かす　／　アユ釣り→体験型を組込む

フットパスコースC　約7.5km　約1時間30分（7km850m 1時間37分）
実際に歩いてみて・・・
8．5km
2時間30分
毎年違う作物を育てているため風景が変わる（ビューポイント）
道が木に囲まれているため森林浴のポイントになるかも
曲がる所の目印が必要（写真）
少し長いきり坂がある
・風景の変化がない
・インパクトが足りない
・老若男女誰でも楽しめる
・虫、蛇、蛙、が多い
・フットパスをやっているがわかるようにする（ビブスなど）
→町民にもわかるようにするため
・ガイドをつける
・スタートをどこにするか
→今金ショッピングプラザをスタートにした場合
○・駐車場がある
・最初に買い物ができる
・坂を最初に終わらせる
×・より風景の変化がなくなる
・
・ビューポイントの写真を春夏秋冬のせる

フットパスコースD　約8.5km　約2時間20分
8km800m　約1時間42分
良かった点
・動物と触れ合うことができる
・四季によって作物の成長や色合いが綺麗
・景色や眺めが綺麗
改善点
・トイレと休憩所を設ける
・熊対策のために利用者に鈴を持たせる
・行きと帰りのコースが似た感じなので少しコースを変える必要がある
・マップがわかりにくい
・マップ内の墓地に関する情報をもう少し詳しく記載する
愛指令ランド
蛙と触れ合えたり、田んぼの中を歩くことができ、とてもいい気持ちになった
美利河国道
スタート地点にするといい
【神丘墓地】
今金町農業開拓の祖である「志方之善」の墓があります。
志方之善さんの妻は、日本女医第一号の「荻野銀子」女史です。
墓地は外せない
墓地を見た後に今金開拓発祥の地に向かうと今金町の歴史に対する理解が深まる
長い距離を歩いた後の急な坂は疲れる
牛と触れ合えたのが良かった
【インマヌエル教会】
「インマヌエル」とは、ヘブライ語で「神とともにいます」という意味です。
入植者たちは、明治29年に草ぶきの教会を建設し、
信仰を深めたといわれています。
その後、教会は大正7年に木造に、
昭和43年に現在の教会へと受け継がれました。

・サイクリングコース２　２時間 17 分

インマヌエル教会のトイレの表記がわかりづらい　／　花畑線の分かれ道に案内表記が必要　／　日陰にベンチを駐車場がない　／　レンタルサイクル→役場で借りられるような体制を作る

## 2.　第 2 回フィールドワーク(9 月 11 日～13 日)

### (1)日　程　　平成 27 年 9 月 11 日（金）～平成 27 年 9 月 13 日（日）

<table>
<tr><th>時　間</th><th>9 月 11 日（金）</th><th>9 月 12 日（土）</th><th>9 月 13 日（日）</th></tr>
<tr><td>7:00</td><td rowspan="4">札幌国際大学<br>↓<br>今金町へ移動<br>【今金町しあわせ号】<br><br>（車内にて昼食）</td><td>ホテルにて朝食</td><td>ホテルにて朝食</td></tr>
<tr><td>8:00</td><td rowspan="3">【神丘地区】<br>フットパス<br>サイクリングコース<br>最終調査</td><td rowspan="3">ＭＡＰ作成②<br><br>調査のまとめ・発表</td></tr>
<tr><td>9:00</td></tr>
<tr><td>10:00</td></tr>
<tr><td>11:00</td><td rowspan="3">調査日程等の説明<br>フットパス<br>サイクリングコース<br>の再検討</td><td rowspan="2">昼　食</td><td rowspan="3">昼　食<br>次回成果報告会<br>の打合せ</td></tr>
<tr><td>12:00</td></tr>
<tr><td>13:00</td><td rowspan="3">ＭＡＰ作成①<br>本日の調査報告</td></tr>
<tr><td>14:00</td><td rowspan="7">【今金町内】<br>フットパス<br>サイクリングコース<br>最終調査</td></tr>
<tr><td>15:00</td><td rowspan="6">夕食準備<br><br>（今金町の食材を<br>使用して自炊）</td><td rowspan="6">今金町<br>↓<br>札幌国際大学<br>へ移動</td></tr>
<tr><td>16:00</td></tr>
<tr><td>17:00</td></tr>
<tr><td>18:00</td><td>夕　食</td></tr>
<tr><td>19:00</td><td>本日の調査報告<br>翌日の日程確認</td></tr>
<tr><td>宿　泊</td><td>【ホテルいまかね】</td><td>【ホテルいまかね】</td></tr>
</table>

### (2)参加者　　学生（男：6 名　女：4 名　計：10 名）　引率教員（2 名）

| 所属学科 | 学年 | 学生番号 | 氏名 | 性別 |
|---|---|---|---|---|
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141009 | 干場　裕子 | 女 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141010 | 小野　颯太 | 男 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141011 | 竹内　俊樹 | 男 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141014 | 西潟　優 | 女 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141015 | 村木　和史 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131011 | 南雲　久弥 | 女 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131015 | 岡本　恵樹 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131023 | 山本　真央 | 女 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131025 | 治部　弘宜 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131031 | 佐々木　真帆 | 女 |

【引率教員】　スポーツビジネス学科　佐久間章、観光ビジネス学科　丹治和典

### (3)調査内容

第1回フィールドーワークで変更したMAPを元に各コースの再検討を行う。コース設定に際しては、ショーットカットコースも検討する。再検討したコースを２日に分けて現地調査を行う。現地調査をしたのち、最終コースの設定を行いMAPを作成する。

【調査担当コース及びメンバー】

＊9月11日（金）13：00～17：00　　（☆）は、ｉプロメンバー

| | |
|---|---|
| フットパスA | 南雲久弥　山本真央　佐々木真帆　阿知波大潤（☆） |
| フットパスB | 治部弘宜　岡本恵樹　丹治(教員)　佐藤創（☆） |
| サイクリング１ | 村木和史　干場裕子　小野颯太　竹内俊樹　西潟優<br>加藤剛広（☆）　臼井惟佳（☆）　佐久間(教員) |

＊9月12日（土）8：00～11：00　　（☆）は、ｉプロメンバー

| | |
|---|---|
| フットパスC | 村木和史　干場裕子　小野颯太　竹内俊樹　西潟優<br>鈴木忍（☆）　早坂靖（☆）　佐久間(教員) |
| フットパスD | 南雲久弥　山本真央　佐々木真帆　佐藤創（☆）　寺崎康史（☆） |
| サイクリング２ | 治部弘宜　釜谷駿介　岡本恵樹　加藤剛広（☆）<br>臼井惟佳（☆）　丹治(教員) |

### (4) フィールドワーク活動概況

**■9月11日（金）FW１日目**

＊13:00～14:00　フットパス、サイクリングコースの再検討

各グループに分かれ、第1回ＦＷの調査を元に変更したコースの再確認を行った。変更されたコースの修正箇所や、チェックポイントの再確認等をグループで行い、調査に向けて話し合いを行った。

＊14:00～17:00　今金町内調査実施

再検討が終了した班から、調査をスタート。町内を探索し、新たなポイントやコースの調査を行った。また、商店などにも立ち寄り新たな魅力やポイントの発掘などを行った。

**■9月12日（土）FW 2日目**

＊9:00～12:00　今金町神丘地区調査実施

コースによりスタート地点が異なるので、2組はテーオーストア、1組はカイゼンセンターから調査開始。前日同様に、調査を行った。

＊13:00～16:00　調査のまとめとMAP作成

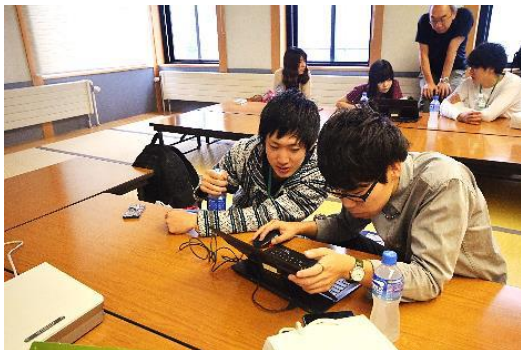
グループ毎に本日の調査結果をまとめ、担当コースのMAP作成を行なった。

＊16:00～19:00　夕食には、今金町の食材を使用したメニューを調理した。

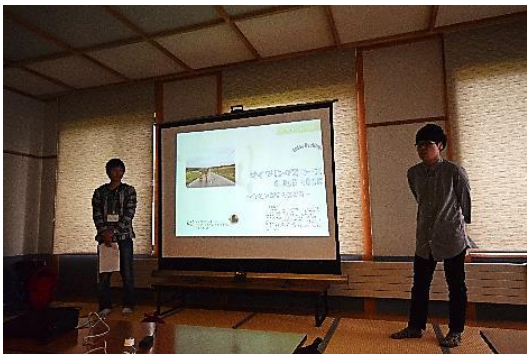
■9月13日（日）FW 3日目

＊9:00～12:00　MAP作成及び報告会

前日に引き続きグループ毎に担当コースのMAP作成を行なった。



第2回FWの調査を踏まえ、決定したコースについてグループ毎にプレゼンテーションを行った。



## (5)学生の声（フィールドワークレポート）

**■スポーツビジネス学科３年　干場裕子**

私の思う今金町の魅力は、『自然』『食べ物』そして『町民の方々の温かさ』である。
２回のフィールドワークでいろいろな場所に行き、今金の食材を食べ、たくさんの人と関わることでこれが魅力だと思った。

一回目のフィールドワークでは、サイクリングコースとフットパスコースをまわりたくさん自然に触れることができた。今金町は畑が多く高い建物が少ないため高台から見た景色や神丘地区を歩いたときの景色は絶景だ。自転車で走っていても急な坂や大きな木・川など都会ではなかなか見られないものがたくさんあり飽きることなく楽しんでコースをまわることができた。また、コースをまわっているときに立ち寄った農家の方々や二日目に参加した「24 時間キャンプ&ライブ」ではたくさん町民の方々とふれあうことができ改めて町民の方の温かさを感じることができた。

二回目のフィールドワークでは、一回目とは視点を変えマップの完成を意識してコースをまわったため１回目のフィールドワークでは気づかなかったことに気付けたり、約１か月が経ち作物が育ち景色が変わっていたり、また違う今金町を見ることができた。
また、自炊でカレー・ポテトサラダ・コロッケを作り今金町の食材にもふれることができた。今金町は行くたびにいろいろな魅力に気づくことができる町だと感じた。

コースをまわって感じたことは、全体的に景色がきれいで自然が多く歩いていても走っても気持ちいいコースだった。子どもからお年寄りまでたくさんの人が楽しめるコースや体を動かすのが好きな人が楽しめるコース、また外国人にはすごくインパクトのあり北海道らしい風景が楽しめるコースになっている。しかし、スポーツビジネス班でまわったコースにはごはん屋さんや喫茶店などふらっと立ち寄れるお店がないことや曲がり角の目印が少ないことが問題点だったように思う。

今金町では町の魅力を伝えるために今金町での暮らしを体験できる体験プロジェクトなどが行われている。このフットパスコース・サイクリングコースも今金町を感じ魅力を伝えられるプロジェクトの一つとしてしっかり成り立たせられるようにこれから取り組みたい。

**■スポーツビジネス学科　３年　村木 和史**

私はこの今金プロジェクトに参加する前は正直、今金町の場所や名前すらも全く知らない状態だった。ゼミ活動として今金町に行きフットパスコース、サイクリングコースの開発をすると聞いたときは名前すら聞いたことがないのだから見るものや体験できるものも少ないと言ったイメージが強かったため、コースの開発は難しいものだと思っていた。また、サイクリングコースは知っていたがフットパスコースという言葉は意味すら分からず一から調べることになった。
今金町にいき実際に仮のコースではあるがフットパスコース、サイクリングコースを体験してみて一番強く思った事は、札幌ではまず見ることのできない風景や出来ない体験がたくさんあるということだ。札幌で暮らしていてはあれだけ広い田園風景は見られないし、フットパスコースを歩いていてあれほどたくさんの発見は札幌では出来ないと思った。第一回目に参加したキャンプライブでは、自分たちでテントをたて、町民の方々からたくさんの食べ物はもちろん、貴重な話をたくさん聞けたことは今回のフィールドワークに関わらず今後の自分の人生の中でとても大きな物となったと感じた。

第二回目のフィールドワークでは、前回歩いた道とマップの検討をした際にでた新しい道を歩いてみたが通った事のない道での発見はもちろんあったがそれ以上に前回と同じコースなのに季節が変わ

り田園風景が変わって見えとことに対しての驚きが強かった。またスポーツビジネス班のフットパスコースでは同じコースだがスタートの位置と道順を逆にして歩いてみたが、それだけで見える風景が全く違い第一回目のときよりももっと今金町の魅力が伝わるコースになったと感じた。サイクリングコースも坂が少ない道を探しながら走ったが新たに立ち寄れる場所を見つける等たくさんの発見があり、マップ作りにいかせる項目が増えたと感じた。
今までのフィールドワークを通して第一回、第二回ともに天候が良くはなかったが楽しいだけではなく自分たちに得られることをたくさん体験したがその貴重な体験や見たものをうまくマップの上で表現しなければならないと感じた。そのためには実際にフットパスコース、サイクリングコースに参加する人の目を持ちマップを作る必要がある。フィールドワークで得た写真や感じた時に書いたメモを全員で協力し今後誰もが見て面白そうだと思えるようなマップを完成させたいと思った。

**■スポーツビジネス学科　３年　竹内俊樹**

２回の今金フィールドワークに参加し、普段経験しないことを経験した。フットパスとサイクリングのコースづくりをメインとして参加してきた。サイクリングコースはロングコースとショートコースの作成、ロングコースは若者やスポーツ向けのコース、ショートコースは幅広い人たちが楽しめるようなコース。サイクリングコースづくりでの経験として札幌では走れないような田舎道を自転車で走ったり、休憩ポイントでの川で水切り、トイレポイントでの温泉でスイカを買いスイカ割りなど今金だからこそできる経験をした。　フットパスコースづくりでの経験として２回とも天気が悪く、天気の良い日にできなかったのは残念だった。今金のスーパーは札幌に比べると開店の時間は遅く閉店の時間は早い。歩いてみてフットパスコースは景色のよいところが多いと感じた。曇りの天気で景色がよいと感じたということは晴れの日はさらに綺麗だと思った。

他にはキャンプや野外炊事、芋掘りなど経験した。自分は野外炊事でコロッケを担当して思ったよりも大きくなってびっくり、勉強になった。１０月には町民向けの成果報告会があり、いけるのは３人しかいないがしっかりと伝わるように頑張りたい。

**■スポーツビジネス学科３年　西潟優**

今金町のサイクリングコースやフットパスコースを実際に踏査してみて、今金町の自然を大いに感じることができた。今金町に行ったのは今回のフィールドワークが初めてだったが、今まで経験したことのない経験ができた。18㎞も自転車で走ったり、雨の中７～８㎞歩いたり、キャンプをしたのも初めてだった。サイクリングでは、きつい坂もあったりしたけれど、川の近くまで行けたり、温泉もありゆっくり休めるところもあるので、体力がある人には是非ロングコースを体験してもらいたいと思った。フットパスでは、風景が基本田園だったけれど、普段ゆっくり畑を見る機会は少ないので、いい機会になるのではないか。また、畑で育てている野菜の説明とかが詳しくされていると勉強にもなり、もっといいと思う。両方を通して、曲がり角が分かりにくい場所が何か所かあるので、体験される方には十分気を付けてもらいたい。１回目のフィールドワークで体験したキャンプは、今回のような機会がなければ絶対に経験しないことであった。晴れていてもテントでは絶対に寝られないけれど、どうせなら晴れて天気の良い日であって欲しかった。雨が降らなければ、また違った経験ができたのかもしれない。バーベキューや縁日コーナー、ライブなど、一般の参加者の人たちも非常に楽しんでいるように見えたので、今金町はいろんな楽しさを提供できるということを知った。また、今金町の人たちはすれ違う時に挨拶すれば必ず返してくれるし、いきなり家に押しかけても笑顔で対応してくれたりして、すごくあたたかい人たちであった。

このように色々な魅力を持つ今金町との事業に関わることができて、様々な経験をさせてもらって本当に良かった。自分が身をもって今金の良さを体験したので、今金町に観光などで立ち寄った人たちには、是非今回制作したフットパスやサイクリングを体験してもらい、今金町の魅力を存分に感じてもらいたい。

**■スポーツビジネス学科　３年　小野颯太**

今までの二回にわたるフィールドワークに参加し、様々な経験をした。一回目のフィールドワークでは、フットパスコースを作るうえで今金町の自然に触れることができた。
サイクリングコースを走った際に、大きな木があり、遠くから見てもすごくきれいだったが、できれば近くで見られるほうがいいが、私有地のため今は近くで見ることはできない。なので、所有者の人と交渉して、近くで見られるようになれば、なおサイクリングコースが良いものになると思った。今金町のイベントに参加し、町民の人とふれあい、温かさを感じることができた。二回目のフィールドワークでは、一か月ぶりに今金町に行き、田んぼの景色が変わっていたり前回とは違う一面を見ることができた。一か月で景色が変わるのだから来た時によって色々の景色を見ることができて楽しめるというところも楽しめるポイントとして挙げられるのではないかと思う。一回目のフィールドワークを経験したうえで、コース作りをしたため、新しいコースの提案や、内容の変更をすることができた。地図作りをしていくうえで、利用者がわかりやすいようにするにはどのような工夫がいるのかなど色々と今まで経験したことがないことをすることができた。二日目の夕食は、今金町の野菜を使ってコロッケ、ポテトサラダ、カレー、イモ餅などを作り、丹治ゼミの人とも協力して作ったので仲を深めることもできて良かった。二回のフィールドワーク両方とも天気が悪かったので、できれば天気のいい時のコースも見ておきたかったことが残念である。もしできていれば違った発見も出来たのでは無いかと感じた。自分は 10 月 11、12 日のフィールドワークに参加することができないので、地図作りなど力を貸せるところでできる限りのことをして、みんなの迷惑にならないように善処します。

**■観光ビジネス学科　３年　佐々木真帆**

私は今回初めて今金町に行ったのですが、大学のゼミの中で今金町について学習するまでは正直全く今金町のことを知りませんでした。また、フットパスというものにも初めてふれました。フットパスとは歩く観光のことで最初は調べていてもあまり魅力的には感じられませんでした。普段からあまり歩くことを大切にしていなかったし、歩くだけでそんなに楽しいようには感じられなかったからです。しかし、今回今金町に行き、実際に今金町の町をフットパスで歩いてみて、その気持ちは大きく変わりました。今金町はとても自然の多い町でした。また歴史的建造物も多くて、フットパスで歩くにはとても魅力的な町だと思いました。ただ歩いて周りの景色を見るだけなのですが、意外にもこんなに楽しいものなのだと気づかされました。ゆっくり歩いて景色をみるとこんなに色んな発見や美しい景色に気づけることを知りました。今金町の魅力といえばまずやっぱりあの綺麗な畑や田んぼ、水田だと思います。あの景色を見るととても落ち着きます。季節によって色も変わるし植えるものが違えば形なども違うし、歩きながらあれは何を飢えているんだろうと考えながら歩くこともとても楽しかったです。今金町では毎年、同じ場所には同じものをまかないという決まりがあるそうでそれは、毎回同じだと栄養がなくなってしまいより良いものができなくなってしまうからだと言っていて、そこまで気を使ってやっているのだと知り、とてもびっくりしました。そして、今金町にある歴史的建造物を見ながら歩くのが一番楽しかったです。私たちは、説明をしてもらいながら見させてもらった

のでますます魅力的に感じました。神丘墓地なんかは、なんだか他の場所とは雰囲気が違いそういった雰囲気も味わいながら歩くこともし、また神丘墓地には今金町農業開拓の祖である志方之善のお墓があり見ることができるのでお勧めです。他にもインマヌエル教会や今金町開拓発祥の地など今金町の歴史を感じられる場所がたくさんあります。歩きながら歴史的建造物をみるのもとても楽しかったです。
また、コースによっては駄菓子やパンを買ったりできるし、何と言っても、日本一の清流とよばれる川に行けるのが最大の魅力だと思います。川の近くで見た夕日はとても綺麗でした。夜は、今金町の食材を使って、自炊して食べましたが、やっぱり今金町のジャガイモは本当においしいです。コロッケもカレーもいももちもポテトサラダもフライドポテトもどれも全部美味しかったです。今金町には、美味しい食材がたくさんあるのだと知りました。あれだけ田んぼや畑に気をつかっているので美味しいものができるのだとおもいます。とても優しい人たちばかりで、あの自然、食材など魅力がたくさんある今金町のことがとても好きになりました。今回私たちのために色々と準備していただき本当にありがとうございました。とても良い経験になったし、今金町の魅力もフットパスの魅力も知ることができました。

**■観光ビジネス学科　３年　山本真央**

今回フットパスを体験したのは１回目と同様で１日目がＡコースで２日目がＤコースである。どちらも１回目で距離が長いと感じショートカットをし、コースを一部変更し歩いた。Ａコースは１回目で体験したコースと比較すると歩きやすく、オランダ通りや商店街もコースに取り入れたことで寄り道が出来るため多くの人に親しまれるコースなったのではないかと感じた。歩いていて町の変化が分かり易く、楽しく歩くことができた。課題点は今金総合公園の下り道の老朽化が進んでおり、歩くのに少々危険であると感じた。安全確保のために道の舗装を行うべきであると考える。Ｄコースではショートカットを行った影響で無理なく時間的にも体力的にもゆとりを持って歩くことが出来た。また、普段触れ合うことが不可能である牛や馬、蛙などの生き物との触れ合いや神丘地区の歴史を歩いて学ぶ機会があり、Ａコースとはまた別の楽しさを体験することが出来た。課題点は１回目と同様、トイレポイントが１箇所も無いことである。仮設トイレを設ける又はトイレポイントを新たに確保すべきであると考える。また、種類によっては人間と触れ合う機会を増やすことによりストレスを感じてしまう動物も存在するため、実際のフットパスコースのなかに牛や馬との触れ合いポイントを確保することが可能なのか確認をすることも必要である。

２日目では今金町を代表する名産品「今金男爵」を使用し、カレーライス、コロッケ、ポテトサラダ、いももち、フライドポテトを自炊した。作ったコロッケをクロワッサンに挟んだコロッケパンをいくつか作り、このコロッケパンが近い将来に商品化が実現する機会が訪れれば良いと感じた。この体験を機にフットパスで地域活性化を試みるのと同時に、今金町ならではの食材を生かし、地域おこしが出来たら、今金町の認知度も上がるのではないかと考えた。「地方都市におけるフットパス導入による地域活性化の検討と課題」というホームページで北九州市立大学の内田晃教授が“通行する小径そのものの魅力だけでは繰り返し訪問するリピーターの獲得にはつながらない。フットパスだけでない魅力をいかに付加できるのか、地域住民との触れ合い、道の駅では手に入れることのできない特産品など、より地域との交流が深まる施策との組み合わせによってフットパス施策が推進されることが望ましい。“(1)と述べている。フットパス単体ではなく、付加価値を加えてPRすることによりリピーターも含み多くの入込者数の増加が見込まれるのではないか。付加価値の具体例として先ほど述べ

たコロッケパンの商品化や、商店街の活性化やフットパスが安全であることの認知度を高めること、そして地域の人々の交流できる場面をフットパスのなかで増やすなど、今金町ならではの素晴らしい要素をキャッチフレーズ化するなどをして広めていくことが今後重要であると感じた。また、近代ではSNSの発展の影響で情報手段が円滑になりつつあるという背景を踏まえ、宣伝などにも力を入れるべきと考える。的確な情報を取り入れることが出来て、初めて歩いてみたいと興味を持ち始める人も少なくないと予測する。私自身も授業を通して初めてフットパスという存在を知り、フットパスとはどんなものか、これからフットパスを行う今金町とはどんな町かを学びそこで改めて興味を持った。

地域や人々を繋ぐことで今後の観光振興に大きな可能性があるフットパスは認知度も含め地域活性化において良い影響を与えるが、フットパスの最大の目的は、その地域に人を呼び込むことであるため、経済的な効果を実感するのには時間がかかり、とても大変であると考える。しかし、町民の方々が自分の地域の魅力を再認識し、他地域でファンが出来たらそれこそがフットパスによる大きな利益とも言えるのではないか。地域に落とされるお金はあとから付いてくるため、活性化を常に新鮮に保つ仕組みが重要であると考える。

**■観光ビジネス学科　３年　治部　弘宜**

今金町のフィールドワークに参加し感じたことは、今金町は地域の特色が濃く非常に魅力的のある町だということを知ることができ、今金町を好きになることができた。今金町には素晴らしい観光スポットがあり、今回二回のフィールドワークで足を運ぶことができた。まず、後志利別川は、昭和62年から全国の一級河川で毎年行っている水質調査では過去十数回にわたり「日本一のきれいな川」となっており、その清らかさを誇っているのだ。その清流には、10科23種の魚が確認され、サクラマスをはじめとした川と海とを行き来する回遊魚が多く生息しているそうだ。まさに今金町にとっては母なる川である。実際に見て思ったこととしては、非常にきれいで水が透き通っているということもあり、ぜひ今金町に立ち寄った際には足を運んでほしいスポットのひとつである。アイディアの一つとして考えたのは、この清流日本一の水を生かしコーヒーを作ってみたらいいのではと考えた。近くにセルフサービスで気軽に飲める場所があれば、今金町に足を運ぶ人が増えるのではないかと考えた。

観光スポットでお勧めしたいのがデ・モーレンである。デ・モーレンとはオランダ語で「風車」を意味している。町の花がチューリップであることから、チューリップといえばオランダ、オランダといえば風車ということで、旧国鉄今金駅跡地に町のシンボルとして風車を建設したそうだ。建物内には当観光協会や今金町商工会が入っており、敷地内のオランダ公園では四季折々にイベントが開催されたり、ウォーキングコースが有ったりと、町民の憩いの場になっておっており、観光客の方も今金町の人々と交流できる場所のだ。デ・モーレン付近にはつぶら屋さんや小川食品や山口商店があり、それを買ってデ･モーレン付近で食べることもでき、観光客は食べ歩きをしたいという人が多いため、観光客にはニーズがあると考えた。デ・モーレンはぜひ立ち寄ってほしい観光スポットである。

今回、フットパスでは今金町の食、自然、観光のいい所を見ることができ非常に満足することができた。ただフットパスコースではまだ改善しなければならない箇所があったりするため課題はあると感じた。例えば川で水切りをしたり川で遊ぶことを体験できたのだが川にたどり着くまでに道が舗装されていなかったりしていて、家族連れのファミリーには危険だなと感じた。後、フットパスコースを歩いてみて感じたこととしては、休憩スポットが足りないのではないかと感じ、ベンチを一つ置いたりするだけでも初めてフットパスをやる人の立場になって考えたときに気持ちに余裕が生まれ、フットパスを快適に回ることができるのではないかと考えた。利用者の目線になって考える必要がある

と感じた。既存のものを生かすのを最優先に考えていき、今あるフットパスコースをより良いフットパスコースにしていきたいと私は考えている。今回、今金町に初めて行ったのだが、初めての人にも訪れてもらえるようなフットパスコースを提案していきたいと考えている。

**■観光ビジネス学科　３年　南雲久弥**

私は第一回、第二回と今金町フットパスプロジェクトに参加した。事前に私たちはフットパスについての知識を得るために色々な資料に目を通してフットパスについての知識を身につけ、今金町がどのような町なのかについても調べ、論文にしてまとめ一回の訪問を迎えた。

一回目の訪問で私はフットパス A コースとフットパス D コースを回った。フットパス A コースは市街を回るものであったが歩いていく中で地域の人たちの温かさや、今金町の様々な魅力に気付くことができた。中でも総合公園のロング滑り台や、ジャガイモ工場、田園風景が魅力であった。歩いていく中でマップには載っていなかった光大橋や後志利別川に立ち寄り新たなスポットを見つけることができた。フットパス D コースは神丘地区を回るコースであったが他の地域ではあまり見ることができないキリスト教徒と仏教徒のお墓が混在している神丘墓地など今金町の歴史を知ることができるコースであり、さらに建物が少なく畑が多いため見晴らしがよく、自然を肌で感じることができるため歩いていてとても気持ちよく歩けるコースであると感じた。

一回目の訪問後、私は早坂さんから聞いた「花埋み」を読み今金町の歴史についての知識を身につけ二回目の訪問に臨んだ。二回目の訪問でも一回目のコースと同じコースを回ったが今金町の方々が一回目の訪問後に少しコースを改善していた。フットパスAコースは前回と違うルートで歩いてみた。オランダ通りを通るコースがなかったのでこの通りをメインに商店街や神社を通ることによって色々な気づきが生まれた。フットパス D コースは一回目に歩いた時よりもコースが短くなっており体力的に楽に感じた。また、「花埋み」を読んだこともあり今金町の歴史をより一層理解することができた。しかし、トイレ休憩をする場所が一カ所もなかったのでそこを改善すべきであるなと思った。

一回目と二回目を終えて今金町の方々が私たちに対する期待と町を良くしたいという熱い思いが感じられ、私たちはそれに応えるためにも真剣にこのプロジェクトに取り組んでいくべきである。しかし個人が真剣に取り組んだところで良いものは作れないと思う。全員が同じ気持ちで真剣に取り組むことで良いものができ、それが良い結果に繋がると私は思う。次回今金町を訪問するまでにもう一度グループでコースの内容について話し合い、マップの完成度を高めていきたいと思う。そして、今回作ったマップをもとに地域の方々に実際にコースを歩いて頂くが、歩いた時に今金町の魅力が伝わる良いコースでありわかりやすいマップだと言ってもらえるようなものにしていきたいと思う。

来年の春から今金町のフットパスを始めることができるように、そして、今金町という町をフットパスを通して全道、全国に発信し今金町がフットパス利用者で溢れ、町の活性化に貢献していきたい。

3　成果報告会(10 月 11 日～12 日)

(1)日　程　　平成 27 年 10 月 11 日（日）～平成 27 年 10 月 12 日（月）

<table>
<tr><th>時　間</th><th>10 月 11 日（日）</th><th>9 月 12 日（月）</th></tr>
<tr><td>7:00</td><td rowspan="5">札幌国際大学<br>↓<br>今金町へ移動<br>【今金町しあわせ号】<br>（車内にて昼食）</td><td>朝食</td></tr>
<tr><td>8:00</td><td rowspan="4">今金町内<br>体験活動プログラムの調査</td></tr>
<tr><td>9:00</td></tr>
<tr><td>10:00</td></tr>
<tr><td>11:00</td></tr>
<tr><td>12:00</td><td>日程等の説明・準備</td><td rowspan="2">昼　食</td></tr>
<tr><td>13:00</td><td rowspan="4">【今金町内】<br>成果報告会<br>フットパスコース体験試歩</td></tr>
<tr><td>14:00</td><td rowspan="6">今金町<br>↓<br>札幌国際大学へ移動<br>【今金町しあわせ号】</td></tr>
<tr><td>15:00</td></tr>
<tr><td>16:00</td></tr>
<tr><td>17:00</td></tr>
<tr><td>18:00</td><td>夕　食</td></tr>
<tr><td>19:00</td><td>本日のふりかえり</td></tr>
<tr><td>宿　泊</td><td>【ホテルいまかね】</td></tr>
</table>

(2)参加者　　学生（男：9 名　女：2 名　計：11 名）　引率教員（2 名）

| 所属学科 | 学年 | 学生番号 | 氏名 | 性別 |
|---|---|---|---|---|
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141009 | 干場　裕子 | 女 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141011 | 竹内　俊樹 | 男 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141015 | 村木　和史 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131010 | 大津　仁哉 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131028 | 釜谷　駿介 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131011 | 南雲　久弥 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131025 | 治部　弘宜 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131019 | 根本　雄伍 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131002 | 高橋　逸人 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 留学生 | ノビコフ　デニス | | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 留学生 | フェドゥロバ　エカテリーナ | | 女 |

【引率教員】　スポーツビジネス学科　佐久間章、観光ビジネス学科　丹治和典

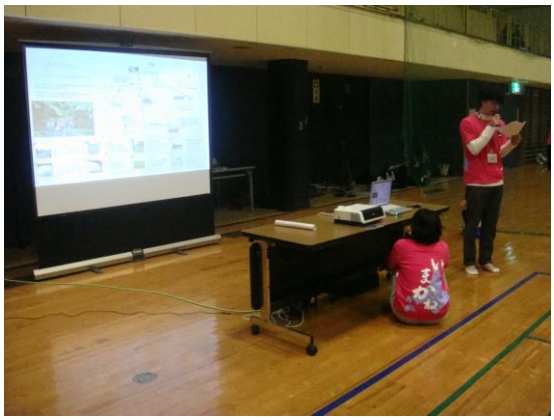
### ⑶ 成果報告

「教育・福祉・まちづくり」の連携事業として実施する「ヘルシーウォーキング「まち・食・健康」～今金の魅力再発見～」の中で、作成したコースを説明するとともに町民と共に実際にコースを体験した。

※会場入り口には、作成したコースの展示コーナーを掲示設けた。

① コース説明

これまでの活動をスライドで説明するとともに、完成したマップの概要について町民へのプレゼンテーションを行った。



**② 体験試歩**

作成したコースを実際に町民と共に体験した。

## (4)　秋のヘルシーウォーキング「今金フットパス」募集要項

みんなで力を合わせて、より楽しく効果的に!たくさんのつながりを生み出す連携事業

今金町が連携している札幌国際大学の学生が開発した素晴らしいコースを歩いてみませんか?

# 秋のヘルシーウォーキング「今金フットパス」

フットパスとは…地域のありのままの風景を楽しみながら歩くこと。★近年日本でも様々な地域で流行しています★

### 当日日程表

| | |
|---|---|
| 12:30 | 今金町総合体育館にて参加者受付開始【各自昼食を食べて集合して下さい】<br>※ノルディックウォーキング用受付は12時30分までに集合して下さい。ノルディックウォーキング講習会を実施します。その他の参加者は13時までに受付を済ませて下さい。 |
| 13:00 | 秋のヘルシーウォーキング「今金フットパス」開会式<br>◆主催者挨拶　◆コース紹介　◆指導者・運営者・大学生の紹介 |
| 13:30 | ウォーキング開始(スポーツクラブいまかね指導者や大学生と一緒に楽しく歩きましょう!)<br>★1　今金市街地フットパスコース　約6.5km<br>総合公園・光大橋から見る景色や後志利別川が堪能できるコース。<br>★2　神丘地区フットパスコース　約7.5km　※バスで移動します。<br>狩場連峰・遊楽部連峰に囲まれ今金の歴史を感じられるコース。<br>★3　今金すこやかロードコース　約2.5km<br>初心者でもウォーキングを楽しめるコース |
| 15:30 | 各コースゴール【ゴールは「総合体育館」です。】※神丘コースはバスで移動。<br>◆整理体操(ストレッチ講座)◆札幌国際大学による活動パネル展　など |
| 16:00 | 今金いっぱいカレー"いまカレー"をみんなで食べよう!「食事交流会」<br>◆保健福祉課栄養士・食育サポーターのみなさんでつくる美味しい減塩メニュー「いまカレー」を皆でお話ししながら楽しく頂きましょう!<br>◆各種団体紹介　◆札幌国際大学生による開発コースの紹介　など |
| 17:00 | 開会式・解散 |

申込み方法などの詳細は裏面をご覧下さい。

**と　き　10月11日(日)**

**ところ　集合「今金町総合体育館」**

**・今金フットパス2コース**

**・すこやかロード**

今回のウォーキングは今金町と連携している札幌国際大学の大学生が今金町を何度も訪れ開発した「今金の魅力」をたっぷり感じられるコースです。改めて今金の魅力を感じるとともに、自然を全身で受け止めてリフレッシュしながら、健康の維持増進、今金町の美味しい「食」にも視点を向けて楽しい一日にしてみませんか?参加お待ちしています!

コースを検討する学生の様子

主　催：総合型地域スポーツクラブいまかね
共　催：今金町(保健福祉課・まちづくり推進課)・今金町教育委員会
協　力：今金町人流創生プロジェクト協議会・札幌国際大学・すっきりサークル食育サポーター

問合せ：今金町教育委員会　〒049-4308 今金町字今金 48-1
Tel. 0137-82-3488　Fax. 0137-82-3445

## 参加のご案内

初めての方でも大歓迎です!

◆対　象　小学生以上の方(親子、友人、グループで参加しませんか?)
◆定　員　なし
◆参加料　500円
参加料は返還いたしません(内訳:保険、食事代、飲み物)
◆昼　食　今金でとれた材料たっぷりカレー「いまカレー」
◆申込み　10月6日(火)までに申込書と参加料を総合体育館へ
ノルディックポールの借用の有無もご記入ください。
★申込みが困難な方は集団受付致します。下記までご連絡下さい。(平日8:30~17:30)
◆雨天時　雨天決行(カッパ等雨具は各自でご用意ください)
◆問合せ　今金町教育委員会社会教育グループ ☎0137-82-3488

今回の食事は・・・保健福祉課栄養士と食育サポーターのみなさんによる

"今金でとれた材料たっぷりカレー「いまカレー」"

▼すこやかロードコース(青色の線が今回のコースです)

▼今金市街地フットパスコース
【距離は 約6.5km です】

▼神丘地区フットパスコース
【距離は 約7.5km です】

秋のヘルシーウォーキング「今金フットパス」参加申込書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 名　前 | | 性　別 | 男・女 |
| 年　齢 | 歳(小中高　年生)(　)内は学生のみ | | |
| 住　所 | | | |
| 電話番号 | | | |
| 希望コース<br>○で囲む。 | 7.5km コース / 6.5km コース / 2.5km コース | | |
| ノルディックポールの借用希望 | 有　・　無 | | |

キリトリ

**(5) 学生の声（レポート）**

**■スポーツビジネス学科３年　干場裕子**

今回のフィールドワークでは、『秋のヘルシーウォーキング』に参画した。雨天のためプログラムの変更があり、最初に健康運動教室がおこなわれ、正しい姿勢と歩き方の指導では見本としてお手伝いさせて頂いた。お手伝いさせて頂きながら、正しい姿勢のあり方や姿勢・歩き方の大切さ、筋肉の使い方などを私たちも学ぶことができた。今までのフィールドワークの成果報告では、各コース短い時間ではあったが現段階での感じた魅力はしっかり伝えられたように思う。違う季節などにもコースを回ってみると、学生だからこそ町民じゃないからこそ見つけられる今金町の魅力をもっと見つけられると思うので、また機会があればコースをまわってみたいと思った。担当したコース以外のコースはまわったことないので違うコースにも行ってみたい。雨があがり、予定とは違う短いコースではあったが参加者の方々と歩くこともできた。今金町はどこを歩いても自然であふれていて解放感があり楽しく歩けると改めて感じた。今回歩いた 2.5km のコースは、サイクリングのときに通ったコースだったが、サイクリングと歩いてみるのとではまた違った良さがあると思った。自転車で風景を楽しみながら風を切って走るのもよかったが、今金町の空気を感じながらのんびり歩くのもとてもよかった。また、今金全体の景色が秋になっていて前回自転車で走ったときとは全然違う風景を楽しむことができた。コースは短かったが、自分のペースでのんびりと歩いたり仲間と話しながら歩いたり、個々でいろいろな楽しみ方ができるコースだと思った。総合体育館に戻り、“いまカレー”をいただいた。カレーにはたくさんの野菜が入っていて隠し味には豆乳を使っているといっていた。今金町の方々と交流しながら食べた“いまカレー”は絶品だった。

２日目は今年から休業になってしまった奥美利河温泉「山の家」に行った。美利河のほうには初めて行った。木々の中すこし険しい道を走り、その道を抜けて見えた奥美利河温泉の景色は絶景であった。携帯の電波がつながらず、自然のなかで日常からすこし離れた生活ができるすごくいい場所だと思ったので休業になってしまったのがもったいなく感じる。今金町は毎回違う魅力や楽しさがある町だと思う。

■スポーツビジネス学科　３年　村木和史

今回で三回目となった今金プロジェクトフィールドワークでは、毎回のように言っているが町民の方々の温かさを改めて感じることができた。フットパスコース・サイクリングコースの成果報告会では、当初想像していた以上の町民の方々が参加いてくれていて初めてこのプロジェクトの大きさや本当の意味を知ることができた。また、初日今金町に到着した時雨天だったので予定していた参加者と実際にフットパスコースを歩くというイベントが中止になると思っていたが、その後晴天になり歩くことができたのはこのプロジェクトの中でも大きなものとなったと思う。実際に歩いてみると今金町の道を歩いたこともそうだが町民の方々とコミュニケーションをとれたのは今までフットパスコースを作って来た意味がわかった瞬間だとも思った。個人的には、まだ距離を感じていた観光ビジネス学科の人たちとも仲良くなれたのは一つの収穫だと感じた。今回参加して下さった人たちからの感想も実際に聞いてみたいと思った。その感想を元にさらによりよいマップを作る必要がある。また、今金町民以外の方々に実際に作ったコースを歩いてもらいアンケートをとるようなイベントも必要だと思う。今回のフィールドワークでは初めて奥美利河温泉に言ったが町の活性化に必ずこの温泉は役立つものだと感じた。特に札幌ではあのような風景を見ながら温泉に入ることはまずできないと思うし、

温泉だけではなく周りの宿泊施設などもとても魅力なあるものだと思った。実際に宿泊施設である山の家には入らなかったが人がしっかり宿泊できる設備とさらに清潔感が感じられるような作りになればより魅力的になると思う。個人的な話になってしまうがここで初めて鍾乳洞を見ることができたが入ることが出来なかったので誰もが安全に入ることができるような設備があればいいと感じた。さらにこの温泉に行くまでの道が狭いと感じたので改善が必要だと思う。しかし、これらの改善点を資金がかかると思うがうまく克服することが出来れば今金町の大きな観光名所となることは間違いないと思う。この温泉が有名になることによって今金町の知名度も高くなり町の活性化につながると感じた。

■スポーツビジネス学科　３年　竹内俊樹

３回目のフィールドワークは町民に向けての成果報告会と実際に町民の方々と一緒にフットパスコースに参加した。自分は 2.5 キロのコースを歩いた。2.5 キロを一緒に歩いて、大人やお年寄りの方は余裕そうだったが、小さい子供には辛そうで親におぶってもらったり後ろを走っている救護車に乗ったり、子供にとってはきついコースなのかもしれない。　３回目も天気は雨だったがフットパスをするときには雨もあがりいままでで一番晴れたフットパスになった。ただ風が強かったのが子供の体力を削ったのかもしれない。フットパス後の今金のカレーも野菜がたっぷりはいっていておいしかった。運動したからこそ、さらにおいしく感じたのかもしれない。　そのあとの懇親会も今金の人たちの貴重な話や観光ビジネス、留学生の人と話したりとても楽しい懇親会だった。

二日目は奥美利河温泉山の家を見学した。すごくきれいなところで温泉もあったかく掃除してすぐにでもはいりたい温泉だった。オプショナルプログラムとして魚釣り体験をした。魚釣り経験者としては１匹くらい釣りたかったが結果は０。今度やる機会があればたくさん釣りたいと思う。

３回目のフィールドワークを終えて、自分たちが作ったフットパスコース、サイクリングコースが実際にコースとして歩かれると思うとがんばったかいがあったなと少しうれしい。今金は料理もおいしく、景色もきれいでいい町だと改めて思った。４回目も企画されているらしい。まだなにをするのか決まっていないがやるからには全力で取り組みたいと思う。あともし魚釣りがあったら今度こそ釣りたいと思う。

■観光ビジネス科　３年　釜谷駿介

今回丹治ゼミ・佐久間ゼミ共同で今金町にて 3 回、フットパスについての現地調査を行ったが、この限られた時間の中で、自身にとって想像以上の経験をさせてもらった。7 月に初めて今金町を訪れるまで、ゼミの時間そして私的に今金という町が一体どういう町なのか調べる機会があった。最初今金町のホームページにて、観光名所、名物などを知ったときは今だから言えるが唖然とした。正直、この町を魅力ある町にするのは暴挙に近いのではないかと。畑や水田が日本の原風景であり素晴らしいということは私も分かっている。しかし、例えば北海道には十勝平野など、他の場所にも同じような風景、さらにもっと美しい畑や水田が山ほどある。そこを１番の見どころと言ってしまっては後が思いやられてしまうのではないかと。かといって見放してしまっては意味がない。しかしどうしたらいいか漠然としたイメージすら掴めないまま１回目のフィールドワークを迎えた。札幌からバスに揺られて雨に打たれて 3 時間半。今金町はひっそりと姿を現した。21 年間札幌に住んで都会の生活に染まっていた私にとっては、自然豊かな今金町を見た時は少し心が落ち着いた気がする。グループに分かれて今金町が提案したフットパス及びサイクリングコースの調査。私が担当したコースは自然をコンセプトにしたコースだった。最初は普段見ることの無い景色にあちこち目を向け、町の方の話を聞

きつつ歩いていたが、途中でふと思った。確かに自然を満喫でき、フットパスコースの意図は分かる。しかし、いつまでも同じような光景の中を歩いている。飽き性な性格からなのか分からないが、これだけでは決して歩いて楽しむフットパスにはならないような気がした。その後ホテルに戻って各グループで調査したコースを検討。トイレがない、道案内の看板がない、コースの高低差が激しいなど課題は山ほど出てきた。こうなるのではないかと予想はしていたが、再びコースづくりは 0 に近いところからのやり直しとなった。しかし、やり直しになったからこそ、自分自身の何事にも取り組む姿勢も変わったと思っている。それまでは何か出された課題に対して淡々と取り組み、正解を導くだけであったが、この調査を通して、正解が出たから終わりという姿勢ではなく、正解が出たとしても、他に答えはないのか、もっと違う過程があるのではないかと、取り組むようになった。1 番今金町のフィールドワークを経て、学んだことである。今金町の方々には本当にお世話になった。町の方々のサポートがなくては、ここまで実りのあるフィールドワークには 100%なってはいなかった。左も右も分からなかった私たちを、貴重な時間を割いてもらい滞りなくフィールドワークの企画に当たってくれた今金町の皆さんには、この場でお礼を改めて申し上げたい。特に焼肉の時に、他のゼミ生たちが風呂に行っている間、ビールがタダでたくさん飲めるという動機で 1 人キャンプ場に残っていたとき、話しかけてくれて、大盛り上がりしたことは今金町の方々の温かさを象徴する印象的な出来事として、今も私の記憶の中に深く残っている。今度いつ再び今金を訪れるのかは分からないが、少しでも今金町に貢献できたのであればそれだけで良かったと思っている。今金町のすべてに、ありがとうございました。

■観光ビジネス学科 3 年　根本雄伍

今金町のフィールドワークの参加は今回で二度目でした。今回は開発したフットパスコース、サイクリングコースの成果報告と今金町の皆さんとのフットパスコースを歩き交流するのが目的でした。一度目に訪れたときも天候が悪く、今回も天候がすぐれず、今金町に到着したときは、雨が土砂降りでした。この天気では今金町の人達も来ないのではないかと思っていたのですが、40 人近くの人たちが来てくれました。開始時間になっても雨が止まず、荒天時プログラムに沿って進む形になりました。初めに、運動講座を行いました。正しい姿勢のとり方やお尻だけで移動するなどのことを行いました。岸さんの講座を受け、改めて自分の姿勢の悪さと、運動不足を実感しました。その後、私たちこれまでの取り組みの報告、フットパスコースを紹介しました。皆さん、真剣に聞いて下さり、とてもうれしく思いました。今金を歩き、地域の方々と考え、協力して完成したフットパスコースは良いものが出来たと思います。報告が終わると雨も止み、予定道理、今金町の人達とフットパスコースを歩くことができました。皆さん、意気込みバッチリで中にはノルディックポールを用意してきている人たちも見受けられ、フットパスに興味や期待をしてもらえているのだなと、思いました。天候は風が少し強くはありましたが、雨が上がり雲の間から太陽も見え、とても気持ちよくフットパスコースを歩くことができました。総合体育館に戻り、いまカレーをいただきました。いまカレーは今金町の野菜を使っていて、普段食べるカレーとは違い野菜の旨みが濃く、美味しかったです。これもまた、今金町の魅力になるなと思いました。私は今金町フィールドワークに第一回と今回の三回目に参加しました。初めて今金に来たときは、凄い田舎で何か魅力はあるのかなと思いました。ですが今金を歩き、今金の皆さんと交流する中で今金町の魅力を感じることができました。また今回、訪問し再度その魅力を感じました。フットパスに人気が出て、多くの人が今金町に訪れ、今金の人達やものと触れ合い今金町の魅力をたくさん感じ取ってもらえたら良いなと思います。

■観光ビジネス学科　３年　治部弘宜

今回、第三回目のフィールドワークに参加させていただき、今回は報告会が主であったがショートコースを周ることができたのでその中で気づきや感じたことがあったので報告させていただきます。気づいた点としては、デ・モーレン付近に大きな公園がありそこでは小さい子供から大人まで楽しむことのできるスペースがあって遊具があってそれを楽しんでいる様子を見ることができたのだが、そこにさらに道具貸出ボックスを置くのがいいと考えました。画像に添付させていただきましたが道具貸出ボックスには、例えば柔らかいボールやサッカーボールを置きいつでも遊べる環境を作れば、ファミリーの方にはもっと利用が増えると考えました。その道具貸出ボックスは町内で有志を集い、使わなくなったものや家に余っているものを代用するのがいいと思いました。今金町以外の人も気軽に利用することができる場所になり、今金町に訪れる人もきっと増えると考えました。フットパスコースを歩いて感じたこととしては、トイレの標識がわかりづらかったように感じました。フットパスコースは長距離のコースが多いため、トイレ休憩が必要と感じ、標識があることによりもっとフットパスコースを快適に利用できると思いました。フットパスコースはどのコースもよくまた歩いてみたいコースがあったのであと少し改善することができればよりよいフットパスコースを作れると思いました。どのコースも非常によかったということもあるのでもっとメディアに露出させたほうがいいと考えました。例えば、ポスターやテレビでなどを通しフットパスを知ってもらう必要があるのではないかと考えました。メディアに取り上げられれば知名度向上にもつながり町に訪れる観光客もきっと増えると私は考えました。今回のフィールドワークでは魚釣りの体験をすることができ、釣ることはできなかったのですが非常にいい体験をさせていただき本当にありがとうございました。また町を訪れた際にもよろしくお願いいたします。

■観光ビジネス学科　３年　大津仁哉

今回、国際大学が今金町に訪れるのは三回目となり、私にとっては二回目のフィールドワークとなったが、今回も成果あるものとなったと思う。一日目に、町内やまた、フットパスコースを共に歩く方々に、フットパスとはどのようなものか、今までの成果と、フットパスコースの説明、これからの展望を発表し、私は発表する側ではなかったが聞いている方々を見ていて、納得してくれている部分や、頷いてくれている姿をみて嬉しく思った。今回も今まで同様、雨で予定通りにはいかず、雨天プランに変更したため、6.5 キロと 7.5 キロは歩くことは出来なかったが、代わりに 2.5 キロと 6.5 キロを歩くことが出来た。私は、6.5 キロを歩いたが、参加者と会話する場面が非常に多く、今までの今金町の話を話していただいたり、フットパスについても聞かれることが多々あった。そして、八雲の方は体力があり、歩くスピードが速いのも印象的だった。フットパスコースを歩いた感想は、人によって歩くスピードが全く違い、担当の者を前後につけるのは大事だと思った。また、植物であったり、次はどっちへ行くのかの説明もあればいい。時間やキロ数をちゃんと表記した上で、都合や体力もあるので適したコースを勧めること。担当者は歩く前にコースを理解し、現在地を説明できること、トイレの場所に着いたなら、次のトイレまで何分であるか説明出来たら良いと今回歩いて思った。

夜には、親睦会を組んで下さり美味しいご飯やお酒を交え、親睦を深めることが出来ました。就職活動が近づいている私たちにとって、社会人の方と会話を出来るということは非常にためになり、今金町もより好きになることが出来た。

二日目に行った、奥美利河温泉に行った感想は、自然に囲まれた露天風呂は最高だと感じた。また、混浴自体見たことがなく露天風呂が混浴を家族で楽しめるというのはいいと思った。場所的に交通機関を使っては行けないみたいだが、あの入り組んでいて車でしかいけない着いた先には、自然が広がり非現実的であるところがまた、特徴的で奥美利河温泉のよいところなのではないかと感じた。川の音も感じられて、BBQ をする場所もあり、外遊びが好きな人には良いところなのではないか。ただ、奥美利河温泉に人を呼び込むには、温泉を使えるようにして足場や BBQ のところも清掃し、お金のかからない範囲で言えば、キャンプ場として使うのが良いのではと考えた。使えるログハウスは活用し、敷地があるのでテントも張れるし、温泉がある。夜には、自然のなかで星空を見ながら温泉に浸かるのも良いのではと感じた。

■観光ビジネス学科　３年　　南雲久弥

私は今回行われたプロジェクトを含め合計 3 回今金町を訪問し、フットパスプロジェクトを進めてきた。今回訪問する前に事前に前回歩いたコース、そして制作したマップについてもう一度グループで話し合い修正した。そして、今回行われた成果報告会に向けて発表の準備を進めてきたが緊張で事前に考えていたことと違うことを言ってしまい自分が思ったように発表することができなかった。今回発表して思ったことは、私は発表する際同じような言葉を何回も繰り返していて、語彙力が足りないと思ったのでもっと本を読み語彙力を身につけていこうと思った。また、成果報告会に参加していた方々は多くが今金町民の方で何人かは八雲町からも参加されており実際にコースを歩く際に私は先頭の方を歩いていたので、周りは八雲町の方々がほとんどだった。フットパスコースを歩いていく中で、八雲町の方々と色々なお話をさせていただいた。その中で、私たちだけでは気づくことができなかったコースの注意点や魅力を知ることができた。また、町役場の西くんから町の人しか知らないような情報も聞くことができた。町民の方々、そしてその周辺の地域の方々に歩いていただくことによって、このプロジェクトに関わることができて良かったなと改めて思った。しかし、このプロジェクトはこれで終わった訳ではないと私は思っている。最終的な目標として、道内や道外、そしてインバウンドの観光客がフットパスを利用するために今金町を訪れ今金町にお金を落としてもらうこと。また、今金町の魅力を肌で感じてもらうことが私たちが掲げている目標であって、フットパス制作だけではない。この目標を達成するためにはいくつか課題がある。例えば、地域住民の方々に今まで以上にフットパスに関心を持っていただき、協力してもらうこと。マップだけでは道に迷ってしまう恐れがあるためルートサインの設置などが挙げられる。また、このプロジェクトで制作したフットパスをどのようにして宣伝するかも今後の課題である。今回フットパス以外にも奥美利河温泉を訪問した。私はこの温泉を事前に論文を書く上で今金町について調べていた時に休業になっていたことを知っていた。写真で見る奥美利河温泉と自分の目で見る奥美利河温泉はやはり違っていて、とても綺麗でこの施設を休業してしまうのはもったいないと思った。しかし、また開業するには様々な面でお金がかかってしまう。そこで私が考えたことは、今金町にフットパスで訪れた方や、秘湯好きの方々に募金を募るという方法である。募金を募ることでお金があまりかからずに済むのではないかと思う。フットパスプロジェクトの次に私たちが考えなくてはいけないことは、奥美利河温泉をどうやってまた開業するべきなのか考えることである。

## 4.　マップ贈呈式・マップ活用方策についてのグループワーク(12 月 19 日)

### (1)日　程　　平成 27 年 12 月 19 日（土）

<table>
<tr><th>時　間</th><th>12 月 19 日（土）</th><th>12 月 20 日（日）</th></tr>
<tr><td>7:00</td><td rowspan="5">札幌国際大学　９時出発<br>↓<br>今金町へ移動<br>【今金町しあわせ号】<br>（車内にて昼食）</td><td>朝食</td></tr>
<tr><td>8:00</td><td rowspan="16">今金町　９時出発<br>↓<br>札幌国際大学<br>13 時到着予定<br>【今金町しあわせ号】</td></tr>
<tr><td>9:00</td></tr>
<tr><td>10:00</td></tr>
<tr><td>11:00</td></tr>
<tr><td>12:00</td><td>日程等の説明・準備</td></tr>
<tr><td>13:00</td><td rowspan="5">【町長への贈呈・意見交換】<br>今金町役場<br>【グループワーク①】<br>あったからんど和室</td></tr>
<tr><td>14:00</td></tr>
<tr><td>15:00</td></tr>
<tr><td>16:00</td></tr>
<tr><td>17:00</td></tr>
<tr><td>18:00</td><td>夕　食</td></tr>
<tr><td>19:00</td><td>【グループワーク②】<br>あったからんど和室</td></tr>
<tr><td>宿　泊</td><td>【ホテルいまかね】</td></tr>
</table>

### (2)参加者　　学生（男：9 名　女：2 名　計：11 名）　引率教員（2 名）

| 所属学科 | 学年 | 学生番号 | 氏名 | 性別 |
|---|---|---|---|---|
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141010 | 小野　颯太 | 男 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141011 | 竹内　俊樹 | 男 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141014 | 西潟　優 | 女 |
| スポーツビジネス学科 | 3年 | 13141015 | 村木　和史 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131015 | 岡本　恵樹 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131023 | 山本　真央 | 女 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131025 | 治部　弘宜 | 男 |
| 観光ビジネス学科 | 3年 | 13131034 | 熊川　佳純 | 女 |

【引率教員】　スポーツビジネス学科　佐久間章、観光ビジネス学科　丹治和典

### (3) マップ贈呈式・町長との意見交換

今金町役場２階会議室にて、外崎町長にコースマップの贈呈を行った。

フットパス・サイクリングMAP
贈呈式　次第

1. 開会の辞

2. 札幌国際大学　学生代表挨拶
　観光ビジネス学科　治部弘宜

3. フットパス・サイクリングコースMAP　贈呈
　スポーツビジネス学科　村木和史
　スポーツビジネス学科　西潟　優

4. 今金町長挨拶
　今金町長　外崎秀人

5. 平成27年度地域連携事業　総括
　スポーツビジネス学科　佐久間章　教授

6. 閉会の辞

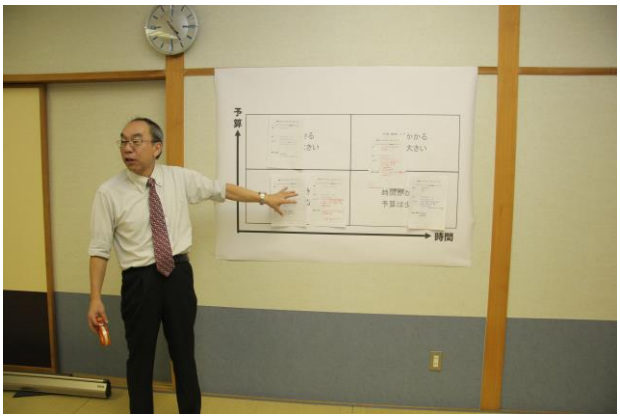
贈呈式の後、役場内議員控室において町長との意見交換を行った。

## (4)　グループワーク

フットパス・サイクリングコースマップの活用方策について、協議を行った。

個人ワーク（活用方策アイディアシートの作成）
アイディアシートの共有・活用方策案（アイディア）についての協議
グループ発表、協議内容の共有

| グループ A | | | グループ B | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 村木　和史 | 男 | ス | 治部　弘宜 | 男 | 観 |
| 西潟　優 | 女 | ス | 熊川　佳純 | 女 | 観 |
| 山本　真央 | 女 | 観 | 竹内　俊樹 | 男 | ス |
| 岡本　恵樹 | 男 | 観 | 小野　颯太 | 男 | ス |
| 佐久間　章 | 教授 | ス | 丹治　和典 | 教授 | 観 |
| 西　皇輝 | | | 岩坂　忠裕 | iプロ副会長 | |
| 佐藤　創 | iプロ事務局 | | 山田　哲也 | 事務局次長 | |
| 加藤　剛広 | iプロ事務局 | | 早坂　靖 | iプロ事務局 | |
| | | | 仁木　希久子 | iプロ事務局 | |

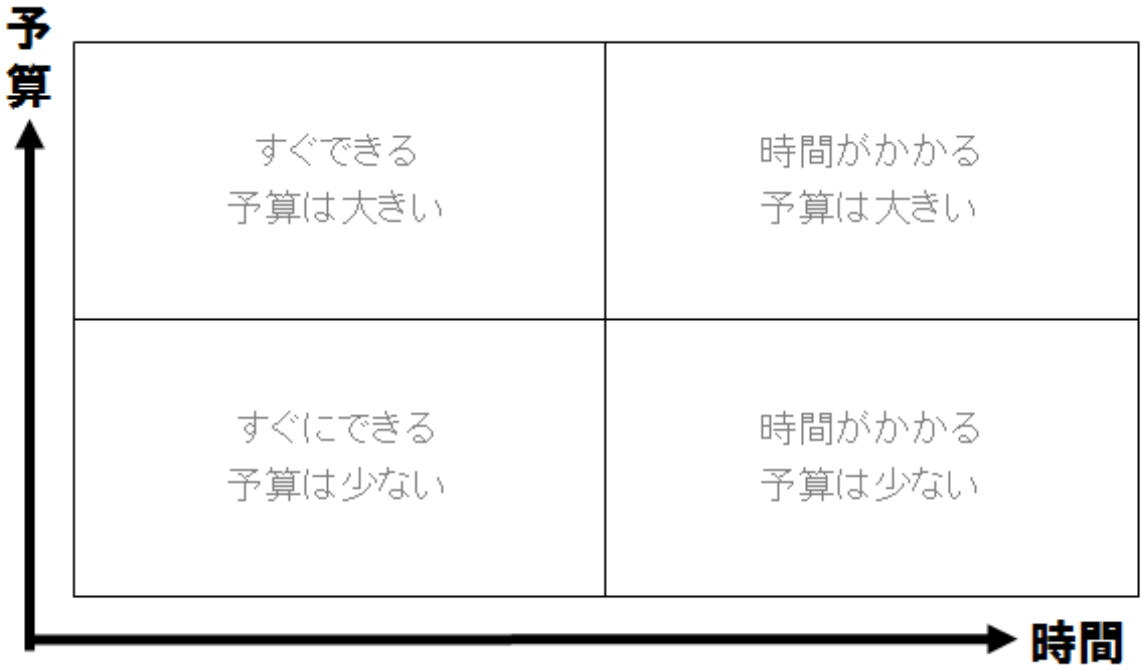


今金プジェクト 2015　グループワーク①

| フットパス・サイクリングマップ活用方策アイディアシート | |
|---|---|
| 誰に | |
| 何を | フットパスマップ　（　　）<br>サイクリングマップ　（　　） |
| どのように | |
| 期待される効果 | |

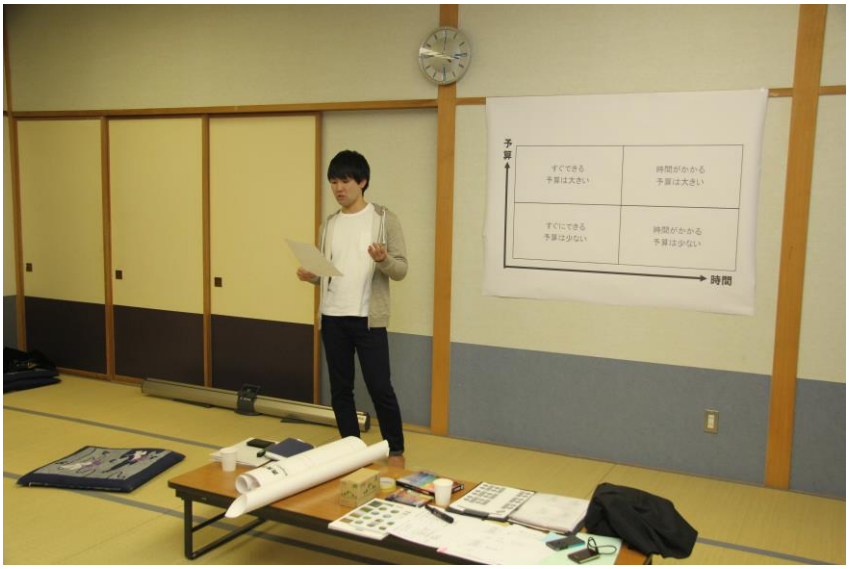
【記入例】今金プジェクト 2015　グループワーク①

| フットパス・サイクリングマップ活用方策アイディアシート | |
|---|---|
| 誰に | 今金町に住むすべての住民 |
| 何を | フットパスマップ　（ ○ ）<br>サイクリングマップ　（　　） |
| どのように | コースを活用した町民イベントを開催する<br>（例）　収穫の秋とフットパスのつどい<br>健康プログラム、フットパス体験<br>食育プログラム<br>※ 町内の各種団体及び役場関係部署とのコラボ |
| 期待される効果 | 町民の健康増進<br>町民相互の交流促進<br>町内関係団体の連携強化 |



■グループＡ　アイディアシートのまとめ

| | 案　1 | 案　2 |
|---|---|---|
| 誰　に | ・サイクリングが好きな人<br>・写真家 | ファイターズファン |
| 何　を | サイクリングマップ | フットパスマップ |
| どのように | サイクリングの大会を開いて、その様子を写真家にとってもらい写真コンテスト<br>⇒優勝商品<br>ホテル宿泊券 | ・イベントで野球教室・講演をひらく。<br>・メインはフットパスを歩いてもらう。（選手同伴）<br>・観光大使 |
| 期待される効　果 | ・リピーターの増加（ホテル宿泊券によって）<br>・知名度UP | ・町内外バランスよく知名度UP<br>・健康促進 |
| 分　類 | すぐにできる<br>予算は少ない | 時間がかかる<br>予算は大きい |



■グループB　アイディアシートのまとめ

| | 案 1 | 案 2 | 案 3 |
|---|---|---|---|
| 誰に | ・歴史好きな人<br>・写真好きな人 | 訪日外国人 | 今金町の<br>小中学校の生徒 |
| 何を | フットパスマップ<br>サイクリングマップ | フットパスマップ<br>サイクリングマップ | フットパスマップ<br>サイクリングマップ |
| どのように | ・町民のガイドを育成<br>・コースの写真を撮ってPRに繋げる<br>・SNSを利用してキャンペーンなどをする（コンテスト）<br>・今金のHPにのせる | ・口コミサイトに掲載する<br>・今金町に有名人をつれてくる | ・自転車の乗り方とサイクリングをかさねる<br>・歴史あるところをまわる<br>・行事などでつかってもらう |
| 期待される効果 | ・知名度UP<br>・来訪者増加 | ・来訪者増加<br>・町の知名度UP（外国人にも） | ・健康（体力向上）<br>・交通安全意識向上<br>・子供の親達にもコースを知ってもらう |
| 分類 | 時間がかかる<br>予算は少ない | すぐできる<br>予算は大きい | すぐできる<br>予算は少ない |

## Ⅳ　成果と課題　～調査研究を振り返って～

「フットパス」とは、イギリスを発祥とする『森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径（こみち）【Path】』のことである。イギリスではフットパスが国土を網の目のように縫い、国民は積極的に歩くことを楽しんでいる。近年、日本においてもさまざまな地域において、各々の特徴を活かした魅力的なフットパスが整備されてきている[1]。

歩く活動としてフットパスに類似するものには、「ウォーキング」、「トレッキング」、「ハイキング」などもある。内閣府の体力・スポーツに関する世論調査によると、ウォーキングは、1991 年以降、今後行ってみたい運動・スポーツの種目のトップにあげられ、過去 1 年間にウォーキングをしたことがある人の割合は年々増加し、国民の 2 人に 1 人がウォーキング経験者となっている。このように歩くことを取り入れた活動は、近年の健康志向とも相まって注目されている。しかし、フットパスは、歩く活動者だけではなく、コースを有する地域にも予想以上の大きな活性化をもたらすことが期待されている。

本調査研究は、地域観光振興の視点から今金町をフィールドとして、フットパスコースの設計を行ない、フットパスの可能性について検討を行うため、7 月から 12 月の間に、計 4 回延 10 日間にわたり同町においてフィールドワークや調査・検討を行った。本研究を通しての成果と課題を以下に整理する。

### 1. フットパスプログラムの提供とファンづくり

フットパスを歩く楽しみを見つけた人は、遠くからであろうと、何度でもその地域に足を運ぶようになる。そして、その地域の魅力にひかれ、その地域のファンとなりリピーターとなると言われている。本研究は、コースの設計という初期段階のものであり、コースのファンづくりまでは、手をつけることはできていない。しかし、10 月に開催された連携事業「秋のヘルシーウォーキング『今金フットパス』」は、作成したコースの魅力等を学生自らがプレゼンし、参加者と共に実際にコースを体験するプログラムを実施した。従前、この事業は、教育委員会が中心となり健康促進のための社会教育事業として実施していた。しかし今回は、完成したフットパスコースの紹介を兼ねて教育委員会だけではなく町保健福祉課、町まちづくり推進課、総合型地域スポーツクラブいまかねが共催し、さらには今金町人流創生プロジェクト協議会、札幌国際大学、すっきりサークル、食育サポーターが協力に名を連ねて実施した。とかく縦割りと揶揄される行政組織にあって、ネットワーク型行政を具現化する形で試行された本事業には、これまでの単一主体では情報を届けることのできない人にまで各組織が有する広報手段等を駆使することによって届けることができた。参加者の中には、八雲町をはじめとする近隣町村からの参加も多くあり、今後の来訪者増によるファンづくりや交流人口拡大への可能性を感じるものであった。

本調査研究に参画した学生の多くは、今金町の所在地さえも知らない状況であった。しかし、訪問を重ねるにつれて今金の魅力を各自の視点で発見し、自らの言葉で説明できるようになってきた。訪問後のレポートは、すべての学生が、今金の魅力について触れており、何よりも学生が一番の今金ファンになった。これも 7 月から 12 月の間に、計 4 回延 10 日間にわたり同町において活動を行ったことが、少なからず影響している。このように、ファン獲得のためには、来町機会を増やすことが必要であり、そして今金町には確実にファンを獲得するだけのポテンシャルがある。近年の健

康に対するニーズの高まりを背景に、フットパスプログラムは、多くの参加者を集約する可能性を期待できる。こうした事業が定期開催されることによって、来町機会の拡大に繋がり、さらには今金のファンづくりにも繋がることが期待できる。

## 2. まちづくり推進のプラットフォーム形成

フットパスコースの作成に中心的な役割を担ってきたのは、本学学生と今金町人流創生プロジェクトのメンバーである。しかし、その他にも町職員、商工会関係者、まちづくりグループ、住民等の多様な関係者のサポートを受けてコース設計を行ってきた。こうしたサポートなしには、コース設計も思うように為し得なかった。しかし、一方では、本調査研究を通して、サポートにあたった町内の多様な組織・団体・個人の間の連携も少なからず進んだ。このことは、本調査研究がフットパスコースづくりというひとつの課題を解決するために、町内外の多様な組織・団体・個人を結びつけたことになる。本学との共同プロジェクトによりフットパスコースの設計という課題解決の取組は、町内の多様な組織を繋ぎ、新たなネットワークの形成に一定の効果があったと考える。フットパスのコースづくりは、共に地域の魅力を探求する活動であるとともに、相互の連携構築・促進の効果も期待できるものである。そして、形成されたネットワークは、コース作成を為し得た今後においても、これからのまちづくりのプラットフォームとなり得ることが期待できる。

## 3. 今後の課題　～「我町のフットパス」を目指して～

1 年間の調査研究活動を経て今金町に、フットパスのコースを作成することができた。しかし、これで終わりではなく、まさにここからがフットパスによる地域観光振興のスタートと言える。コース情報を効果的に提供するマップの作成や、コース内に必要なサインを整備したり、さらには広くコースを周知・活用してもらうためのフットパスウォーク等のイベントの開催も必要となる。また、フットパスコースを定期的に点検し、コース上に不具合があれば補修する維持管理の体制も求められる。このためには、今金町におけるフットパス活動を所管する組織を明確にする必要がある。日本国内のフットパス先進地の多くは、活動を支える組織体制を持っている。北海道黒松内町は「黒松内町フットパスボランティア」、東京都町田市は「ＮＰＯ法人みどりのゆび」、熊本県美里町は「美里フットパス協会」などがその例である。それぞれの推進組織の体制は異なっているが、いずれもフットパス普及のため様々な活動を行っている[1]。このように今金町においても、所管組織を明確にすることが今後の大きな課題と言える。しかし、フットパスに関わるすべての業務を一組織に委ねるのであれば負担も大きく、継続的な活動を維持することは至難となるに違いない。そこで、コースサインの制作やイベントの企画・運営、コースを案内するガイドボランティアの養成など、より多くの町民がフットパスに関わりフットパスを育てていくことが必要である。そして、その過程こそが、町民がコースへの愛着を深め、フットパスのファンとなり、地域観光振興のツールとしての「我町のフットパス」が定着するのではないかと思う。

また、推進組織の体制のみならず町民のおもてなし体制を整えることも重要である。とりわけ、今金町のコースは、農地や商業地を中心にレイアウトされている。四季で異なる田畑の景観や特産品やスイーツなどを味わうことのできる店は、コースを歩く人にとって大きな魅力である。しかし、さらにコースの価値を高めるためには、町民のおもてなしが必要である。畑の景観を楽しみながら歩く人に、農作業の傍ら挨拶などの声かけをする。商店街を訪れる人には、商品のネーミングや由来・原材料の特徴など、付帯情報を積極的に提供する。このように、フットパスで来町する方々と

のコミュニケーションが、「我町のフットパス」に大きな付加価値となるはずである。「今金町の魅力は、景観はもとより、人の温かさ」という多くの学生の感想がそれを裏付けている。

## おわりに

本調査研究は、学部・学科を超え観光学部観光ビジネス学科とスポーツ人間学部スポーツビジネス学科の 3 年生による共同プロジェクトとして実施した。観光とスポーツをビジネスという共通の視点で捉えると「フットパス」は、まさに恰好の課題であった。それぞれの専門領域の学びを踏まえ、異なる学科の学生がフィールドワークや協議を通して与えられた課題の解決にむけての取組は、学生にとってコミュニケーションスキルや複眼思考のトレーニング機会としても貴重であった。さらに、今金町人流創生プロジェクトメンバーが加わることにより、世代を超えたメンバーとの協議など、学内では用意することのできない環境の中で、学生の学びを展開できたことも大きな成果の一つである。

フットパスの推進は、地域活性化や地域観光振興の視点から注目されている。しかし、単にコースを設置さえすれば、来訪者増による交流人口が拡大し、地域観光振興に繋がると言うものではない。神谷[2]は、フットパスに内在するまちづくりの力について 5 つの要素を挙げている。第 1 の要素は、まちづくり資源の発見。第 2 の要素は、ファンづくり。第 3 の要素は、共同体の再生。第 4 の要素は、プラットフォームの形成。そして、第 5 の要素は経済効果である。しかし、これらの要素は、コースの設置によってすべてのまちづくりの力を享受できるものではない。コースの設置から活用までの過程において多くの町民が関与し、試行錯誤し、育てていくことが「まちづくり」の原動力になるということではないだろうか。今金町のフットパスは、コースを作成したに過ぎず、歩き始めたばかりである。如何に育てていくか、今後も注視していきたい。

【 注 】

1　日本フットパス協会ホームページ
http://www.japan-footpath.jp/aboutfootpath.html　（平成 28 年 2 月 16 日参照）

2　「2013 年度　地域課題研究」　北九州市立大学都市政策研究所　2014 年 3 月
地方都市におけるフットパス導入による地域活性化の検討と課題
内田晃　（北九州市立大学）pp.39-58

3　神谷由紀子編著　「フットパスによるまちづくり～地域の小径を楽しみながら歩く～」
㈱水曜社　2014 年 5 月

# ≪資　料≫

## コースマップ

約1時間30分／6．6Km

Enjoy Foot Path!

# フットパスコース GUIDE BOOK

## ふれあいコース

このコースは今金市街中心コースです。
地域住民との交流をメインに歩くことができるのが特徴で、フットパスを初めて利用する方でも安心して回ることのできるコースです。また、途中にお子さんが楽しめるような場所もあります。
コースの途中でお腹が空くためお菓子やパンなどを買って歩くことをおすすめします。コースにどのような建物があるか着目することで、より楽しむことができるのではないでしょうか？

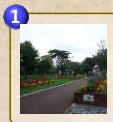
【発行】 平成27(2015)年10月
【制作】 今金町人流創生プロジェクト協議会
札幌国際大学

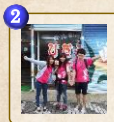
## ふれあいコース

この二つのコースは今金市街中心コースです。

ピンク色のコースは距離があるため体力的に余裕のある方向けです。

緑色のコースは直線的な道が多くフットパスを初めて利用される方向けです。

1 
**オランダ通り**
春は桜、秋は紅葉など季節によって景色を楽しめる。休憩所が沢山あり歩きやすい。

2 
**ひだまり**
パンや駄菓子などを買うことができ、店内にも喫茶スペースがある。営業時間：10時～18時。定休日：日曜、祝日

3
**今金総合公園**
全長80mのロング滑り台があり、自然を肌で感じることができる。子どもも楽しむことができるスポット。

4
**今金総合公園（管理塔）**
年中無休で9時～17時まで開放。自動販売機は館内にあり、イスとテーブルがある。飲食可能。

5
**山口もち屋**
今金町を代表するお店。フットパス中におなかがすくためここで餅を買うことをおすすめします。

6
**光大橋**
今金町市街にある珍しいループ橋。橋からは今金町を一望でき、眺めがよい。

7
**田園風景**
このコース唯一の田園風景である。虫の鳴き声が歩いた疲れを癒す。四季によって景色が変わる。

8
**後志利別川**
日本一の清流である。悪天候の場合は近づけないが、晴天の時は川に入って遊ぶことができる。

約3時間00分／9Km

Enjoy Foot Path!

# フットパスコース GUIDE BOOK

## くもかぜコース

荻野吟子さんが作った詞で「雲はらふ風につけてもこの頃はとしべつ原の朝夕の空」という言葉からこのコースの名前を付けました。
畑や田んぼ、川や山などの自然豊かな風景を楽しみながら今金町の歴史を学び、町の成り立ちを知ることができるコースです。このような場所は車で素通りしてしまう方が多いと思いますが、実際に歩いてみることで神丘地区の特徴や小さな発見ができるのではないでしょうか？

【発行】 平成27(2015)年10月
【制作】 今金町人流創生プロジェクト協議会
札幌国際大学

# くもかぜコース

今金町神丘地区

### 神丘墓地

今金町農業開拓の祖である「志方之善」のお墓がある。北海道ではあまり見ることのできない仏教徒とキリスト教徒のお墓が混在している。

### 今金町開拓発祥の地

明治24年、全くの原野だったこの地域に「志方之善」「丸山要次郎」ら10名がキリスト教の理想を掲げ入植した最初の場所であり丸山要次郎が単独で一冬を越した場所でもある。

### 改善センター

赤い屋根が特徴。駐車場があるので車でお越しの方はこちらに車を駐車することができる。赤い屋根が特徴。

### 神丘10号線

急な坂があり上り坂の距離が長いため少し厳しいと感じると思う。しかし、登り切ると眺めが良く坂を下りるとゴール地点であるため達成感を感じることができる。天気の良い時はメップ岳が綺麗に見える。

### 山崎さんの牧場

牛と触れ合うことができる唯一スポット。牛は人懐っこく、仔牛から大人の牛までいる。柵には電気が流れているので注意が必要。

### インマヌエル教会

「インマヌエル」とはヘブライ語で「神とともにいます」という意味。志方之善がこの教会を建て、近くに茅葺の家を建て荻野吟子、養女のトミと暮らしていた。トイレはミサが行われている日曜日のみ開放。

約2時間／4.6Km

Enjoy Foot Path !

# ショートフットパス GUIDE BOOK

～Why Japanese People!?
ナゼ今金ヲシラナインダヨ！～

コースプロフィール
町の中心である商店街通りで、地域の方々に愛される食べ物を食し、今金でしか味わえないものを楽しみ、食べ歩きをすることができます。
河川敷では川の音で癒され、休憩をし、水切りをして遊び、健民グラウンドでは球技等スポーツをすることもできる。川沿いの堤防をソフトクリームを食べながら歩くのがとても気持ちいです。
このフットパスはコースが短く、食べ物やトイレ等の休憩所、施設が充実しているのでお子様とご一緒に楽しむこともできるので、幅広い世代にお勧めできるコースです。

【発行】 平成27(2015)年10月
【制作】 今金町人流創生プロジェクト協議会
札幌国際大学

## フットパスショートコースB

緑の実線は当初の予定コース、
オレンジの実線は実際に歩いたコース
黒い点線は模索中のコース

### つぶら屋

今金町のソウルフードと呼ばれているささみパンが名物！売り切れ必死なので、早めの行動を！

### 小川食品

今金名物鶴の子大豆をふんだんに使用したお豆腐が名物で、他にも滑らかな舌触りの豆乳アイスや素材の味が強い豆乳がおすすめです。

### A-Coop

地元の農産物を気軽に買うことのできる地域の方々馴染みのスーパーである。

### 山口もち屋

日替わりで様々な種類のお餅を販売している今金町の馴染みの和菓子屋さんである。

### 後志利別川

清流日本一に13回も選ばれている一級河川。10～23種もの魚も生息し、水切りをして遊んだり、川の音を聴きながら休憩場所としてもおすすめです。

### 健民グラウンド

野球場が3面、ソフトボール場が1面用意されている誰でも自由に使える球技グラウンドとなっている。遊び道具は持参となっているのでお好きな道具をお持ちください。

### ひだまり

地域の人々がふらっと立ち寄り、幅広い世代と交流をする場所として地域に根付いている。駄菓子やパン、雑貨等が販売され、休憩スペースも用意されている。

### デ・モーレンを販売している

今金町の町のシンボルともなっているオランダ風の風車が目を引く建物があり、風車の2回が観光協会となっている。

約2時間50分／13Km

Enjoy Cycling!

# サイクリング2コース GUIDE BOOK

## ～今金の歴史をたどる～

コースプロフィール

このコースは、途中にトイレや飲食をすることのできる場所が少ないため、スタート地点のテーオーストアで食べ物や飲み物を購入してスタートすることをお勧めします。

野生の行者ニンニクや山ぶどうが生息し、畑には枝豆やカボチャ、ビート等々多くの作物の様子を見ることもでき、まっすぐに続く下り坂など今金ならではの地形を活かしたコースで、今金の歴史をたどることもできる素朴で叙情的なルートです。

【発行】 平成27(2015)年10月
【制作】 今金町人流創生プロジェクト協議会
札幌国際大学

## サイクリングコース２

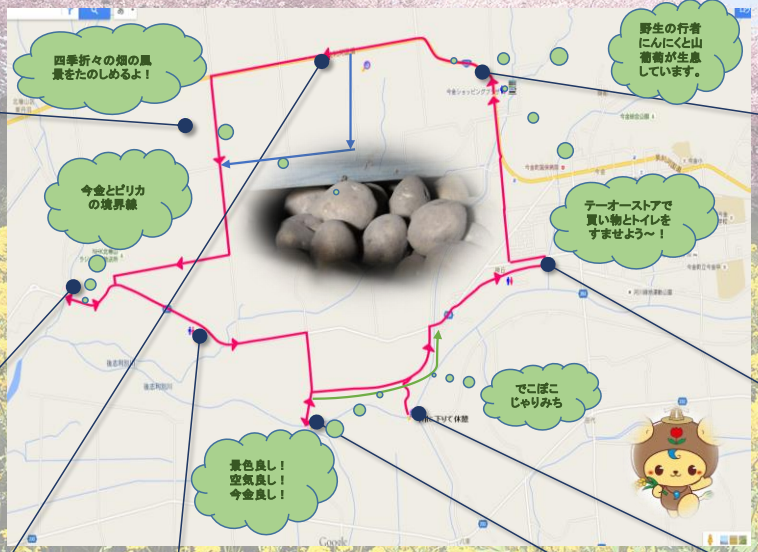
ピンクの実線は当初の予定のコース
青の実線は実際に歩いたコース

### 神丘墓地

今金町農業開拓の祖である志方之善氏の墓があり、仏教とキリスト教のお墓があり異質な空間となっている。

### 今金町開拓の発祥の地

今金町に入植してきた志方之善氏とかつてとゆきとし丸山茂次郎が最初に開拓に訪れた地として石碑がたっている。



### 巨大なボウリングのピン

交通安全の祈願としてある企業から寄贈された２ｍを超えるボウリングのピン。

### 水　門

形に特徴があり、大きいのでチェックポイントとしてご活用ください。

### 国道230号線

札幌市から同道久遠郡せたな町に至る一般国道である。

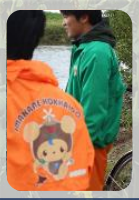
### インマヌエル教会

明治27年、日本初の女医「荻野吟子」が夫、「志方之善」の後を追って入植した地です。インマヌエルとはヘブライ語で「神とともにあります」という意味です。

### 後志利別川

清流日本一に13回選ばれた一級河川。大きな川幅も特徴である。

立ち止まって少し休憩…



### 河原で休憩

天気の良い日は冷たい川に入ることもでき、水切りなどをして休憩をするスポットとして最適です。

約1時間30分／18.7Km

Enjoy cycling!

# 自然と触れ合おう！風景を楽しむ爽快サイクリングコース

**【コースプロフィール】**

このコースは、今金町ならではの大自然や絶景を楽しむことができるのが特徴です。
アップダウンが激しく、高所から町を一望できる“チャレンジコース”と、誰もが走りやすいフラットな“エンジョイコース”の2つから選択することができます。
コース内には今金町で獲れた野菜や果物を販売している種川温泉や、水遊びができる河原などの休憩ポイントもあります。
体力に自信がある方は是非、チャレンジコースを！！！
自分のペースで楽しみたい方は、エンジョイコースを走ってみてください。

【発行】 平成27(2015)年10月
【制作】 今金町人流創生プロジェクト協議会
札幌国際大学

## 自然と触れ合う！風景を楽しむ爽快サイクリングコース！

**流域周辺マップ**

後志利別川の周辺の情報が詳しく乗っている

**後志利別川**

・休憩ポイント・水遊び

**種川温泉**

溜まった疲れをココで癒そう！
野菜・果物の直売所もあるのでお土産にいかがでしょうか。

営業時間：平日AM10:00～PM9:00
日曜日AM9:00～PM9:00
（毎週木曜日は定休日）
料金：大人440円、中人140円、小人70円

効能：リウマチ性疾患・運動器障害、創傷など

**町の風景**

＜ビューポイント！＞

高台から町全体の風景を一望することができる

**大きな木**

※私有地のため立ち入り禁止

**神社**

**※注**
**コース内に買い物ができる場所とお手洗いが少ないので事前に準備してください。**

約2時間／8.5Km

Enjoy Foot Path!

# ゆっくり　ゆったり
# 田園フットパスコース！

【コースプロフィール】

山や田園の風景を楽しめるのがこのコースの特徴です。
場所によって育てている作物が異なるため、様々な風景を楽しむことができます。
また、長くまっすぐな道が多いので、見晴らしがよく、神丘地区の風景を一望できます。
休憩場所としても利用できる愛指令ランドは、遊具やボートがあり、子どもから大人まで楽しむことができます。
季節や植えられる作物によって毎年風景が変わるので、何度歩いても楽しめるコースです。

【発行】 平成27(2015)年10月
【制作】 今金町人流創生プロジェクト協議会
札幌国際大学

まだかねぇ・・・？

ここかねぇ？

いまかねぇ？

今金町人流創生プロジェクト協議会 ／ 札幌国際大学